

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（167）」

2. 日時：令和5年7月19日(水) 15時00分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：松村執行役員 他7名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）
- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁谷です。エントヒアリングを始めたいと思います。
00:00:06	今日の案件としては北海道電力株式会社泊発電所 3 号炉基準津波に関するコメント回答。
00:00:15	地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということなんですけれども、
00:00:22	これ
00:00:23	我々としては、早く会合を準備したいなと思って先週ヒアリングしたところなんですけれども、やっぱり
00:00:34	先週のヒアリングっていうのいろいろ事実関係北海道電力の考えをいろいろ確認したかったんですけれども、やっぱり時間切れ、確認したいことが結構多くて、
00:00:47	時間切れになってしまったということですね、
00:00:51	続いたずその続きのヒアリングということですね早い方がいいかなというふうに考えて次の週に設定しているということなんですけれども、
00:01:02	ただ資料はですねこの 1 週間の間に、北海道電力としての考えがちょっと直したいという部分をですね一部直しているという状況かと思っていますけれども、
00:01:14	全体としてはまだまだ、資料の修正途中ではあるけれども、基本的には、前回のヒアリングと、C を用いて、もう 1 回続きのヒアリングを行うと。
00:01:27	ということかと思っています。
00:01:30	それでいいですよ。はい。資料を簡単にですね修正しているところ。
00:01:37	だけでも 1 度、説明してもらいましょうかよろしくお願いします。
00:01:42	はい。北海道電力の松村です。
00:01:45	ヒアリングよろしくお願いします。今、谷さんからお話があった趣旨で、我々として今、説明概要のところになりますけれども、修正できる
00:01:57	修正させていただきましたのでそこについてまず説明させていただきたいと思います説明は沖から 10 分程度、よろしくお願いします。
00:02:07	北海道電力の青木です。私の方から説明させていただきますと本編資料の 1 ページから 36 ページにかけてが説明概要になりまして、
00:02:17	その点前回の 7 月 12 日のヒアリングから変更しておりますのでその変更箇所について主に説明させていただきますと早速ですが、ページめくっていただいて 2 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:29	こちら本検討の概要というところでこちら変更かけております。
00:02:34	まず、構成というところで変更しているところございまして一つ目のポチが、検討の背景に該当するところ、二つ目のポチが検討の内容に該当する箇所を、
00:02:45	三つ目が検討の結果、四つ目のポチが考察という構成で整理しております。
00:02:51	そのうち検討の背景の一つ目のポチについては、前回から大きな変更ございませんので飛ばさせていただきます。
00:02:58	二つ目のポチのところを大きく変更しております。
00:03:02	藤玉野発電所は下の特徴を踏まえて、日本海島縁部に想定される地震に伴う津波とかわしらの津波が組み合わせ時間範囲においてピークが重なることに主眼を置いた検討を実施しております。
00:03:14	ここを数字で①から⑥の検討内容を記載してございます。こちらについては後段になりますが13ページでフローを書いておりましてそのフローの番号に合わせて、
00:03:25	検討内容を整理したのになっております。
00:03:28	まず、①の検討のところでは、各断層パターンの東西方向位置について、日本海島縁部の範囲を網羅できる移動量を整理しております。
00:03:38	その上で②、
00:03:40	網羅できる道路の中から日本海等に想定される地震に伴う津波と川白のピークが重なる波源を特定いたしました。
00:03:48	その後③泊発電所に波源が近づくことで水位が大きくなることを踏まえて、②で特定した波源内道路のうち、発電所に近くなる最も東に位置する移動量のケースを、
00:04:00	ピークの水位が大きくなる波源として、概略パラメータスタディの検討対象として選定しております。
00:04:07	その概略パラメータスタディの結果ではピークの水位が大きくなる波源を選定する。
00:04:12	④では、アスペリティ位置と断層面上縁深さの変動を考慮した詳細パラメータスタディを行いまして、こちらにおいてもピークの水位が大きくなる波源を組み合わせ対象の検討。
00:04:23	対象として選定しております。⑥で、組み合わせ評価の同一波動場の検討を実施すると、こういった①から⑥の流れを、後段のフローに合わせて記載の適正化、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:33	を凶ったものになります。
00:04:36	三つ目のポチが検討結果に該当するところになりまして、江藤日本海当面想定される地震に伴う津波とかわしらの組み合わせ評価が大きくなる波源を得て、選定したというところで結果を書いております。
00:04:51	最後まとめ考察になりまして、以上のことから、泊発電所における日本海島目止め弁に想定される地震に伴う津波の特徴を考慮して、
00:05:01	従来 of 川白に伴う津波との組み合わせ時間評価のみではなくて、ピークが重なる波源を特定する手法を用いた上で、他のパラメーターの変動を考慮した、今回の検討結果、
00:05:12	は最大ケースを評価する上での網羅的な検討になっているという考察にしております。
00:05:18	続いて3ページ、水加古川の概要となります。
00:05:23	こちら一つ目二つ目のポチが検討の背景に該当するところになります。一つ目の丸については、水位下降量の話になっておりまして、加古川の波源選定については取水口に貯留堰が設置されておりまして、処理できを下回る時間が最大になる波源を選定する。
00:05:40	という観点から、この下降量が最大になる波源が下回る時間も大きくなると考え取水口位置における水位変動量が大きくなる波源を選定しております。
00:05:49	続いてまた、取水口位置における津波が、二つの矢羽根の特徴を有することを踏まえて、貯留堰を下回る継続時間とパルスを考慮した時間を用いた波源選定を実施しております。
00:06:01	具体的には水位変動量が最大になる波源と貯留堰を下回る時間は最大になる波源が一致しない可能性があるというところ、また取水口位置における津波の特徴として一時的に貯留できる荒瀬城野は形があること。
00:06:17	これらの検討の背景踏まえて二つ三つ目と四つ目の○で検討、今回の検討を説明しております。今回成果コアの評価が耐津波設計において安全側の評価となるように、
00:06:28	基準津波の評価として保守性を考慮した時間による波源選定を追加しております。
00:06:34	また、日本海島縁部に想定される地震に伴う津波と川白の組み合わせ、この組み合わせ評価にあたっては、3号炉取水口の下降量と貯留堰を下回る継続時間、パルスを考慮しない時間、
00:06:47	どうして考慮した時間の四つの、
00:06:50	評価項目で選定された波源を用いて各評価項目への影響を確認したと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:55	その結果というところで、これは四つの、
00:06:59	評価項目で選定された複数の波源を用いた組み合わせ評価をすることで、水位下降側の評価に大きな影響を及ぼす波源を選定いたしました。
00:07:08	また、考察というところで、水位上昇側とは異なり、水位下降側では箱波源の入れかわりが発生しないことを踏まえると、川白多分を組み合わせ評価において移送の影響は少ないと考えております。
00:07:21	下段の波源の選定方法については大きく移行しておりませんので飛ばさせていただきます。
00:07:28	また変更点というところで、
00:07:30	6 ページ 7 ページ 8 ページの、衛藤指摘事項に対する回答について変更しております。
00:07:38	と前回ですと検討の方針までを記載するという位置付けで整理しておりましたが今回の指摘事項に対して回答の概要を説明する等という構成で修正しております。
00:07:48	まず 6 ページで、指摘事項 No. 33 番の上昇側の回答。
00:07:55	一つ目の回答の概要の○ですポチですが、川白の第一波と地震津波の一般批判が重なり水位が大きくなる可能性を踏まえて、網羅的に断層パターン断層パラメータの変動を考慮した上で、
00:08:07	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源を選定する方針とする。
00:08:11	その選定方法選定結果については、下段の記載を参照というところにしております。
00:08:17	検討の具体例というところで、
00:08:20	各断層パターンに対して一層に影響を与える断層パラメーター
00:08:24	具体的には波源位置に関する断層パラメーターが東西方向 1 矩形黒字モデルであることからこれらを対象に検討する方針とする。
00:08:33	その二つ目のポチで、地震津波の解析実施ケースの分析結果に基づいて、各波源、断層パターン 5 から 8 と矩形可能時モデルの組み合わせを対象に、組み合わせ時間範囲において、一般には、
00:08:46	このピークが生じる波源の東西の移動量を整理しまして、その生じる波源を以下の通り特定したというふうにまとめております。
00:08:55	大きく東井戸と西井堂の二つの観点でまとめておりました東井戸では、断層パターンごとなの、矩形モデル。
00:09:03	の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:04	二つのケースで選定され、特定したという結果になっております。石堂の場合ですと、断層パターン 5 から 8 の 4 通りと筧彼女の二通り。
00:09:14	もう、
00:09:15	これ八つのケースに対して東西の移動量をこの範囲に設定すると、ピークが生じる波源、組み合わせ時間範囲でピークが生じる波源と、いうところで特定したのになっております。
00:09:26	この特定結果を踏まえて 7 ページの残りの回答の概要を説明させていただきます。
00:09:32	こうして特定した波源、組み合わせ時間範囲において一般に花ピークが生じる波源のうち、東西に幅を持っておりますのでこのうち最も東に位置する波源を対象に、
00:09:43	以下の断層パラメータの変動を考慮した解析を実施しましてピークの水位が大きくなる波源を選定いたしました。
00:09:49	まず矩形区野地モデルの検討で詳細パラメータスタディではアスペリティ位置と断層面上縁深さの検討。
00:09:57	という手順で検討しております。
00:09:59	そして選定した波源、
00:10:02	ていものが、組み合わせ時間範囲において第一波 2 班のピークの水位が大きくなるは下になりますのでこちらを対象に組み合わせ評価を実施しております。
00:10:11	その結果というところで、断層パターン 7 の東へ 15 キロ移動させた波源が、アスペリティ位置を D 南へ 20 キロメートルもしくは 30 キロメートルにすることで、
00:10:22	この第 2 版のピークの水位が増加して最大ケースになったという結果になっております。
00:10:27	最後、川白の 2 はの影響というところで、
00:10:31	日本の影響は一般と比べて水位が小さくて、組み合わせにより水位が大きくなる可能性はないと考えております。一方念のためという位置付けで、川白にはと重なる可能性がある地震津波の 2 は、
00:10:43	を対象とした組み合わせ評価を実施しまして定量的に影響が小さいことを確認しております。
00:10:51	続いて 8 ページ、こちら指摘事項 33 番の下降側の話となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:57	こちらの8ページの上段の回答概要については、さっきの3ページのほうで説明しました検討の概要と同様ですので説明を割愛させていただきます。
00:11:08	また、指摘事項の34番については大きな変更ございませんので飛ばさせていただきます。
00:11:16	続いて変更点というところで13ページをお願いいたします。
00:11:24	こちら変更点何ヶ所かありますので順番に説明させていただきますと上段のテキストボックスの四つ目の丸。
00:11:32	と断層パターン1から4の説明というところで、前回の説明ですと、最後の締めくくりの言葉が、断層パターン1から4については断層パターン5から8で代表できるといった表現にしたが評価可能であるといった記載の適正化を図っております。
00:11:49	また①から⑥の検討フローのところ、前回ですと、既往の結果を用いた分析であったり追加の解析といった、
00:11:59	検討の手法について分類しておりましたが今回は、
00:12:04	当組み合わせ時間範囲やっぱ2または2羽のピークが生じる波源の特定というところで目的に合わせて①②を実施しているというところ。
00:12:12	またピークの水位が大きくなる波源の当選定というところで③から⑤の検討を実施していると、いったフローの見せ方を変更しております。
00:12:21	また、②のピークが重なる東西の移動量の検討の結果というところで、
00:12:28	コメント回答概要でも説明しましたが、断層パターン5から8を、それぞれ東西へ何キロずらすと重なるかっていう特定した結果についても併せて掲載するフォーマットにしております。
00:12:41	続きましてページ変わらして、
00:12:46	21ページをお願いいたします。
00:12:55	こちら上昇側の検討のところの⑥の組み合わせ評価について21ページ22ページの2ページにわたって、もともと本編資料で作成したものを概要に格上げしております。
00:13:08	とテキストボックスへまわしていただきますと、概略詳細パラで選定したケースに対して組み合わせ評価を実施いたしました。
00:13:15	その結果前回の審査会合で示した最大ケースと比較して、5.6床、川白の一派と地震津波の2羽の組み合わせ評価の追加解析結果は、
00:13:26	上回って結果になったので最大ケースを更新したというところを書いております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:31	表の上段が前回の最大ケースで下段が今回の最大ケースになります。
00:13:37	見方ですが朱書きに書き分けで書いてあるものが、今回の追加解析を行ったことによって更新された形成を示しております。
00:13:45	その考察というところが下段のテキストボックスで書いておまして、断層パターン7のこの水色は青色ハッチングでかけたもののアスペリティ値を、もともとDで検討していたものをD南へ20もしくは30キロ、
00:14:00	変更した追加解析を今回実施したことで、最大ケースが概ね断層パターン7の青のケースが占めるという結果になったというところを考察で書いております。
00:14:10	そちらを説明するものというところで22ページで、結果を書いております。
00:14:17	とは形のしておまして左側が変更前の最大ケース、右側が変更の今回説明した最大ケースになっております。
00:14:26	前回と今回で大きい違いというところで、アスペリティ位置をもともとDのみで検討していたものに対してD南へ20頭もしくは南へ30といった結果を今回追加解析の対象にして、その結果、
00:14:39	地震津波の単独での第2のはのピークの水も上昇しまして、組み合わせの結果も同じように増加しているという傾向がありましてこういった理由で最大ケースが更新されたというふうに、
00:14:51	整理しております。
00:14:54	続いて24ページのところで、変更点というところで、下段のテキストボックスの中で、念のための検討というところを、簡易コメント回答概要と合わせて修正したところになります。
00:15:12	続きまして、29ページお願いいたします。
00:15:21	これまで上昇が説明をしておりました下降側の説明の変更点となります。
00:15:27	この29ページでは評価項目に対する説明というところで、変更箇所としましては、衛藤、
00:15:35	このスライド中の一番左下のところに注釈の※1と※2と書いておましてこのうち※1のところを変更しております。
00:15:43	※1については3号炉取水口の水位下降量の補足の説明になっておまして、前回ですと基準津波に選定しないが、等幅広に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:15:54	当組合評価することで影響が大きい波源を選定するためという目的を書いた上で評価項目に設定したという記載にしておりましたが、前回の、
00:16:05	3月24日の資料ではそこまで詳しく書いていなかったというところで、基準津波に選定しないが評価項目に設定していたという事実のみの記載をされております。
00:16:17	続きまして最後に32ページをお願いいたします。
00:16:26	前回の後ですと、波源の入れ替わりの確認というふうにしておりましたが、結果に該当する波源の選定結果が書いてないというところもありましたのでここに波源の選定結果という言葉を追記しております。
00:16:41	また下段のテキストボックスが修正したところになっておりまして、3号炉取水口は綱領と下回る継続時間、パルスを考慮しない時間、保守性高齢者時間、
00:16:51	で選定された複数の波源を用いた組み合わせ評価を実施することで、水位下降側の評価に大きな影響を及ぼさ元を選定した。
00:16:59	地震津波の最大ケース組み合わせの最大径性ともに断層パターン7のケースが選定されておりまして、主要な断層パラメータの変更という観点では波源の入れかわりは発生していないと。
00:17:10	いうふうに考えております。
00:17:12	最後、水位上昇側と異なり下降側では波源の入れ替わりが発生していないことを踏まえると、川白戸の組み合わせ評価において移送の影響は少ないと考えられると。
00:17:22	いうふうにまとめております。
00:17:24	大きな説明箇所というところで説明以上とさせていただきます。
00:17:34	債規制庁谷です。
00:17:38	はい。前回からの修正箇所について説明見た時も1、
00:17:47	ちょっとこのヒアリング前回のヒアリングの続きっていうところもあるので、
00:17:52	変更箇所にとらわれずに、全体の話をどんどん確認していけたらなというふうに思っています。
00:18:00	ですね。
00:18:02	やっぱり私も、
00:18:04	ヒアリングの後にもよくこの資料を、
00:18:08	資料提供の資料じゃないですよ前回の資料とかをよく見てて、
00:18:14	やっぱりですね、まずこれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:16	何を説明したいのかというのがですね。
00:18:22	とてもわかりにくいんですよこの概要は作っていただいているけど、何かパーツの話がボンとは恥始まるような、いきなり水位上昇はこうしましたよ。
00:18:33	続いて何が出てくるんですかね。
00:18:42	2羽の話じゃないのか次は、
00:18:45	結果がこうなりましたよっていう話で、次に話がボンと出てくると。
00:18:50	確かにコメント回答として、1個1個区切ってるのは、
00:18:57	区切ってるんだろうなと思うんですけども、やっぱりこの総保護の関係をきちっと最初にですね、
00:19:04	何か
00:19:06	こうするんですよっていう全体が見えるような、
00:19:09	説明が要るんじゃないのかなというふうに思いますんで、そうじゃないと。
00:19:15	あれなぜ、なぜ北海道電力は、上昇側の話だけをこうやってこう、
00:19:21	ずっとしていくんだろうとかですね。
00:19:24	あれなんで、そのあとに行こう。
00:19:27	川白の第2版の話が出てくるんだろう。
00:19:32	で、
00:19:33	多分この辺で大分こう理解する構造のロスが出てきていると思うんですよ我々読む側としては、私もやっぱりそれ、ちょっと思いましたし、
00:19:47	やっぱり全体の、
00:19:49	説明をしっかりと欲しいと。
00:19:51	或いはパラスターに入るときには、
00:19:54	パラスターって一体何の項目があるんですかってその中で、
00:19:58	どうしてこの順番になるんですか、どうしてここのパラスターが必要なんですかとかというですね、何か全体の流れをこう、
00:20:06	ちゃんと説明する場所を、要所要所に入れて欲しいなど。
00:20:12	いうふうに、
00:20:13	思いました。
00:20:16	で、
00:20:17	根井でそれが次は2ページ3ページなのかと。
00:20:22	言うとなぜやっぱり2ページ3ページは2ページ3ページでね。
00:20:26	とてもこうわかりにくいんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:29	今もですね、これ
00:20:32	ざっと聞いてて、
00:20:33	文字ばかりのページが2ページ3ページっていうふうにあるんですけども、本当に必要なことがここに必要なことをちゃんと選んで書いてるんですか。
00:20:44	ていう。
00:20:47	気持ちで見るとですね、何だかこれは、水位上昇側に対して、
00:20:53	何が課題で、何が目的でこういうことをやってるんだとか。
00:20:57	そういうのがですね、よくわからない。
00:21:00	いやもちろん私は審査をずっと携わってるから、
00:21:05	課題は把握してるつもりなんですけれども、北海道電力としてこういう検討をするのが何が課題だからこうしてるのか。
00:21:13	或いは目的は、
00:21:15	幸田からこういう検討したんだとか、
00:21:18	というのがですね。
00:21:20	何かわからないですねと。
00:21:23	いう。
00:21:24	所。
00:21:25	あとはね、
00:21:27	これも全体に対して、
00:21:30	いえるんですけど、
00:21:32	何か用語がですね、用語がちょっとわかりにくいところが散見されます。
00:21:38	同じ言葉を、おなじことを説明するのに、
00:21:42	何かこう違う言い回しをしてるところが結構あるのかなと。
00:21:46	いうふうに思いますね。
00:21:50	ちょっと具体的な話をすると、
00:21:58	例えばね、この2ページの、
00:22:00	二つ目の丸の、
00:22:03	4ポツでは、
00:22:05	概略パラメータスタディ結果に基づき、ピークの水位が大きくなる波源を選定する。
00:22:12	て言ってるんですね。
00:22:14	⑤では、4で選定した対象ケース。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:20	てなるんですよね、これは。
00:22:22	波源なら励んでこう続くんじゃないんですかとかですね。
00:22:26	あと、移動量とかいう言葉とかもねなんかぶれてるんですよね波源位置、波源位置であったり、移動量であったり、
00:22:35	なんかねその辺をね、資料全体を通してね。
00:22:39	ちょっと説明して欲しかったり、あと、磯ってという言葉使ってますけど磯って北海道電力
00:22:48	何か時間のことしか言っていないんだけど、普通の人が聞いたらやっぱり根井層っていうとね。
00:22:54	振幅とかも含めて、そうだと思うんですよね。
00:22:59	そこをちゃんと使い分けた方がいいんじゃないですかっていう言葉の問題ですね。
00:23:09	そうなのが駒田資料としてねいろんなところでちょっと見えてきましたよと。
00:23:14	いう話。
00:23:16	あとはね、
00:23:19	ちょっとごめんなさい話の順番を、
00:23:22	ちょっと変えればよかったのかもしれないですけども、資料の作り方としてね。
00:23:26	ちょっとコメント回答、コメント回答なんだけれども、
00:23:31	何か強いコメント回答と言いつつ、
00:23:36	まとめ資料の中で使ってる、まとめ資料ってまとめ資料、また、きつと別で生まれるんでしょうけど、
00:23:47	ここはね多分コメント回答に絞って、
00:23:51	コメント回答をする。ここではするんで、別では、
00:23:55	全体の流れの、
00:23:57	まとめ方をするとか、
00:24:00	例えば今、最近の取り組みとしてはね浜岡とかねそういうのをしてるのが、最近の会合でもありますけれども、
00:24:10	ちょっと今はね、かなり中途半端な感じになってるかなとか思うんですよね、ここに関係する。
00:24:20	コメント回答に関係する章だけをこう、
00:24:24	持ち出して、その章で並べてるんで、でもそこにはコメント回答する上では、ひょっとしたらちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:31	余計なというところあれですけど参考程度でいい情報がたくさん入ってて、何がじゃあ、コメント回答で必要なことなのかっていうのが、多分これもわかりにくくしてるんじゃないのかなと。
00:24:44	そういったことを感じます。
00:24:47	ちょっとその全体の、
00:24:49	これ私これ感想的なことを言ってしまうんですけども、
00:24:55	できる限り、もうもう少しわかりやすい説明をして欲しいというのが資料構成についてなんですけど。
00:25:03	何かありますかやっぱりこういう、
00:25:05	こういう構成じゃないと不説明できないんですよとかいう、
00:25:09	今の構成。
00:25:11	にこれはこだわられてるんだったらそれでちょっと話聞いてみたいところですけど。
00:25:22	北海道電力奥寺です。
00:25:24	2ページ3ページのところか、ちょっと、おそらく受けとめ側と、
00:25:31	我々が作り手なんですけれども、かみ合っていないと今のコメントを聞いてて思ったんですけど我々の意図としては、
00:25:41	今おっしゃったことがで言うと、目的とかどういうやり方をして、
00:25:47	それでそれによってどういう結果が出て、それはどういうことなんだっていうのは例えば水位上昇側の2ページですと、
00:25:54	123市ってのはそういうつもりで書いているんですけどもそういうふうに、
00:26:00	読んでて見えない。
00:26:03	ので、まだつなぎとか目的とかに補足が必要なのかなっていうのは、
00:26:10	私今聞いてて感じたところです。
00:26:13	で、
00:26:15	2ページ3ページ、両方ともそういう、今ある情報とか我々が把握してる中で、そのつもりで書いているんですけども3ページについても同様。
00:26:26	なつもりで、
00:26:28	おりました。あと言葉遣いについては、
00:26:35	前回の日リングなかなか時間ないなカーではあったんですけども、一部この概要のところを修正しつつ、統一できるところは、
00:26:46	統一していたつもりなんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:50	ちょっと至らない部分があったのかなと思います。そこら辺は、
00:26:55	もうちょっと今の
00:27:00	事実確認結果というものを踏まえて考えねばならんところなのかなと。
00:27:05	思いました。
00:27:07	あと、9、
00:27:09	コメント回答結果まとめ資料化というところについては、
00:27:15	コメント回答ではあるんですけども、おっしゃる通り、
00:27:19	まとめ資料の一部でもあると思っているので、その前た飯尾。
00:27:25	まとめ資料としてのそうだというのを全体を構成するために、
00:27:30	まとめ資料として必要な情報を入れているんですけどその辺が、コメント回答としては蛇足な部分があるというコメントなのかと、かえってコメント回答の
00:27:41	肝がわかりづらくなっているのかなというコメントで今、
00:27:46	これをどうするというのは即時新しいここでいえるところではないんですけども、そのように受けとめておりますけれども2ページ3ページというのは、
00:27:56	課題点とかその流れに沿って我々なりに作ったものなので、
00:28:01	それを
00:28:04	ちょっと、
00:28:06	自分で作っという言のもなんですけどセンスがなかったのかな、すり合わなかったのかなというところで、
00:28:13	話し合っってブラッシュアップするしかないのかなと思っるところです。細かいところで、青木さんなんか、
00:28:38	うん。井谷です。えっとね、例えばね、2ページの丸があっ、
00:28:46	なんかこう、2ページの一つ目の丸、これが特徴を整理しました。
00:28:53	二つ目の○以上の特徴を踏まえてって言われても、
00:29:01	本当に困難だったって思うわけですよ。以上の特徴を踏まえて、
00:29:09	ピークが重なることに主眼を置いた検討を実施した。
00:29:18	具体的にこうやりました。
00:29:23	うん。
00:29:27	或いは下降側、
00:29:28	ここが二つ、一つ目二つ目の丸で、今、今までこうやっ、
00:29:35	今回、
00:29:37	三つ目で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:38	安全側の評価となるように、保守性を考慮した時間による波源選定を追加した。
00:29:46	で7名。
00:29:48	それ、それまでが、
00:29:50	何か問題があったりしたから、三つ目にいってるんじゃないのかなあ。
00:29:56	と思うんです。そうじゃなかったら何か。
00:30:02	これで、一つ目二つ目で、
00:30:06	よかったのか、悪かったのかとかいうのも何かよくわかんないですね。
00:30:12	で、今回さらさらに何か北海道電力としてはいいことをしたっていう話をしているのか。
00:30:19	問題があったから、ちょっと直したのか。
00:30:22	ていうのがわかりませんよねっていう話をして、
00:30:26	るんです。
00:30:27	で、多分ね、2ページとかも、何か書くべきことをね、例えばこの①から⑥までここまで細かく書く必要あるんですかっていうようなところもあるし、
00:30:39	何をすればこういうのが解決するんですよっていうのをこう、
00:30:43	肝になる部分をちゃんとこう、
00:30:46	書いて欲しいんですよね例えば、一つ目のマル1なんて確かに丁寧に書いてるんだけど、
00:30:53	本当にいるんですかってだんだんポイントは何かちゃんと重なるところを網羅的に、
00:30:58	把握したんですよ。
00:31:01	それにあたって①なんですよっていうだけなんで、こういっぱい書くとやっぱり正確には伝えようとしてくれてるんでしょうけど、いっぱい書くと何か言いたいことは多分ぶれてるんだろう、ぶれてるといのかぼやけてしまうんだろうなって思う。
00:31:16	てます。そういった点でいうと、
00:31:19	三つ目の丸と四つ目の丸って本当にこんなことを説明する必要あるんですかと。
00:31:24	何か同じようなことをずっと書いてるだけに思うんですよね。例えば三つ目の丸の、上記組み合わせで大きくなる波源を選定した。で、その次に矢羽根が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:36	何床で更新した。
00:31:38	組み合わせ評価していたが上記の検討により、
00:31:42	最大ケースを更新した。
00:31:45	で、それは当然更新するわけだから、
00:31:48	何を、何を言いたくてこれを書いているのかなっていうのが、ちょっと別の意味があって僕はとらえてないのかもしれないですけど、何かたくさん書いている割には、
00:31:58	何か本当に必要なかなあとか思うし、
00:32:01	四つ目の丸なんて、
00:32:07	以上のことから、
00:32:17	これは何か
00:32:19	起承転結の記の部分が何か内容ないからこうなってるのかよくわかんないんですけどよ。四つ目の丸って、
00:32:29	どう、何を、何を言いたくて書いているのかな。むしろ最初に、こういうことをやるために、この検討が必要だったんですよって言って、
00:32:39	書いてくれればいいのになっていう。
00:32:44	気がするんですよね。最初にこういう説明があって何でこういう検討が必要なのかっていうのがあって、それでもって、何か説明してくれたら、
00:32:53	そちらがわかりやすいんじゃないかなとか思ってこれを見えています。
00:32:59	最後、すいませんねこのページばかり僕
00:33:03	なんかちょっとけちつけてるように、こう思うかもしれないけど、例えばの話として、
00:33:11	どど。
00:33:14	例えばの話として何を伝えるべきかっていうのが、ちゃんと整理してくださいねって言いたいだけなんです。で、3ページで言うとね例えば、
00:33:27	西郷。
00:33:35	3ページの水位下降側の最後また水位上昇側と異なり水位下降5で発生していることを、発生していないということを踏まえると、移送な影響は少ないと考えられる。
00:33:48	て言ってますけどこれは、言いたいことは何なんですかと位相の影響が大きいのか小さいのかを私たちこれ最後まとめて持ってきて欲しいわけじゃなくて、
00:33:58	適切な波源が選定できているかどうかかなんだと思うんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:34:09	その結果、
00:34:13	浜高木なんか、
00:34:17	また、またこれ何でこうこう、これを設移送の影響が少ないことを書いてるのかっていうのがよくわからないですね。例えば最後の四角ですけども、
00:34:33	一つ目のマル。
00:34:35	選定しました、選定の結果水位上昇 514 ケース水確保 4 ケースとなった。
00:34:42	で、
00:34:42	何か繋がらないんですよ、これだって 3 ページで。
00:34:47	3 ページで、
00:34:49	下降側をよ、4 種類の方法でやってるんですよ。
00:34:54	と言ってないですか。これ 3 ページの上の水位下降側では、
00:34:59	それが何で、
00:35:00	各地形モデルで最大のものを選んだら、4 ケースになるのかとか言うのか、話がねなんかね、繋がらなくて、
00:35:09	こう読んでてこう。
00:35:16	わかりにくくって、きっとこれって、確かにですね検討されて作ってる方っていうのはですね、
00:35:23	やってることっていうのをちゃんと書こうとするんだと思うんですけども、やっぱり社内でね、これは本当にこう伝えるべきことなのか、いや、私がこれ、
00:35:35	よく理解できてないのかもしれないんですけど、ちゃんと社内でですねこれは必要なことがちゃんと
00:35:42	書かれているかっていうようなことをですね、よく検討していただけたらなと思いますこれ、確かに先週ね、ヒアリングしてすぐにこう直してるようなところもあるっていうのは、
00:35:52	背景わか分かるんですけども、少しこういうのは、丁寧に説明を、
00:35:58	しっかりと必要なところを説明してくれたらなというふうに思います。
00:36:17	齋藤電力奥寺さん。この 23 ページの、
00:36:22	伝わりづらい部分をブラッシュアップして大事なことを伝えるというものに持っていくということには、それに取り組んでいきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:32	少しだけ書かせていただいた意図だけ説明させていただければと思います。
00:36:39	まず、二つ目の1から6というのは、後段2ページとかを各項目に入れてますけれども、
00:36:49	後段に出てくるフローの1から6に対応させた方が、何を言ってるのかわかりづらい、わかりやすいのかなと。
00:36:58	いう、これを私の勝手な思いで、一つ一つ対応させているのでかえって細かすぎて、全体のねらいとか規模がわかりづらくなってしまっている
00:37:09	というようなコメントと受けとめてます。
00:37:12	それと、四つめの、矢羽根の更新されたっていうところは、
00:37:18	結局波源を選定した後に水位が大きくなっているというのは、
00:37:25	一つの我々としては、今まで説明したことと異なることを更新したって
	いう書き方が、水位が大きくなっているとは直接書いていないんですけれども、
00:37:36	その部分というのは、冒頭ではっきり伝えたいなと思ったので書いている
	次第です更新したっていう書き方が、その意図が伝わりづらいのかもしれないんですけども、ちょっとここ、
00:37:49	残す残さないとか、その辺は社内で議論せねばならないところかなと思ってますあと四つ目については、
00:37:57	こういう、我々として一つ目目的意識があって、2番目にこういう手順でやって更新された。
00:38:05	前よりもきちんとおっきなものが、実際出てきたっていうところを踏まえると、網羅的な検討となっているというこの十分性みたいなのを打ったたいので、
00:38:16	つけていたところであります。
00:38:19	あと移送の影響が少ないとかは、先ほどおっしゃられた合意の統一、用語の統一とかそういうところかなと。
00:38:29	思います。あと、先ほど言った水位下降側の123、5番目に、4項目やっているの2最後の水加古が地形と紐づけて4ケースっていうのがわかりづらいというところが、
00:38:45	ここは、
00:38:46	途中に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:50	考え方とかの経営経緯といいますか説明の順序の部分で、繋ぎ言葉が足りんのかなというところで、そんなのも含めて全体、
00:39:00	わかりやすくせねばならんのかなというふうに受けとめました。
00:39:04	半分言い訳でいいですか、我々の意図の説明等、
00:39:09	わかりやすくするということに、我々として議論がないところがございます以上です。
00:39:15	井谷です。大体伝わってるかと思えますけれども、これ多分、2ページでね、例えばさっきの①から⑥はリンクさせましたよって言うけど、
00:39:26	ここで理解してもらわないでしょって言うだけなんだよ。
00:39:33	だって、だってここで文章で見たってですよ、理解できると思いますか。
00:39:39	いや、すごい文章をふやしつだけふやしておいて、さすがにこれをですねみんなにこう見てね、やってきたことはこれなんですよって言うのはですね、私は不親切だと思う。
00:39:49	てるんです。
00:39:52	これ、
00:39:53	李。
00:39:55	はい。
00:40:00	うん。いや、
00:40:02	うん。
00:40:03	どう、どうやって何をここで伝えるのかっていうのを書いてください。考えてください。
00:40:14	いや、文章がねもっとね、こうコンパクトだと。
00:40:18	ただね、そうそんなこと言わないんですけどこの量を読んでって、
00:40:22	理解できん理解、難しい話をしておいて結局、ここは何を言いたいんのかなって言って、
00:40:30	今私もこうなんかのにわかになんて読んで、こういうことを言ってるんですけど、
00:40:36	ここで、
00:40:38	わかりやすくするために作ってるこの2ページ3ページがですねここでわかりにくいついていうのはちょっとね、
00:40:47	どうかなって思って言ってるんで、ちょっと、
00:40:52	考えていただけたらと思いますよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:37	電力奥寺でございます。まず、ちょっと文字が多いっていうのが一つの特徴ととらえたので、まず何を。
00:41:45	やっているのか課題点やっていること大事な部分が伝わるような、
00:41:50	ものを作らねばならないという意識は共有してるんですけどもさらにちょっと相談してブラッシュアップしたいと思います。以上です。
00:42:02	はい谷です。はい。お願いします。
00:42:05	うん。せっくなのでね最初でこうすんなりわかる資料がいいかなと思います。
00:42:12	あとねちょっともう細かな何か言葉じりとかいうのはいろいろあるんですけども、
00:42:18	ちょっと
00:42:19	全体が見えるようにしてくださいっていう話を今ざっとしたつもりなので、あと技術的なちょっと、
00:42:27	確認、後根井下委員などと思って、また
00:42:34	きっとその言葉がどうのとかいう話にまた戻ると思いますけれども、
00:42:42	資料が、
00:42:45	どこだ。
00:42:53	200 ページで、
00:43:02	確かにねこれね説明を受けた。
00:43:06	と思うんです。200 ページで、
00:43:12	すみませんねこれな。
00:43:16	*っていうのが、
00:43:19	上の表の左上の、
00:43:22	健全地形モデルの膨張で前面のところのね、1012.90 メーターにアスタリスクってついている説明前これ説明を受けましたね。
00:43:31	で、
00:43:32	このアスタリスクっていうのは実は、
00:43:34	ちょっと余計なことを言うとその表の右下の黄色ハッチングっていう*じゃなくって、
00:43:41	健全地形モデルの膨張で前面の最大ケースは、R533.24、
00:43:50	で選定されていると、追加県解析により選定されない。
00:43:54	これはだから追加解析をしても変わらなかったと。
00:43:58	というようなケースですね、ちょっとアスタリスクの振り方は考えてくださいね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:02	で、
00:44:04	ちょっとか簡単な点から、1点目が
00:44:08	これねこのアスタリスクがついてるところってこれで十分ですかっていうので、
00:44:13	健全地形モデルの12号取水口、上昇側9.11メートル、これも実は黄色ハッチングはずれてアスタリスクがつくんじゃないのかなと。
00:44:25	思うんですけど、これ資料間違っていないですか。
00:44:32	北海道電力の青木です。ちょっとこの黄色ハッチングの言葉の使い方がちょっと正確じゃなかったというところだと思ってまして事実としては、ここの9.11というところの黄色ハッチングかけてるんですけど、これは最終的な最大径性にならないケース。
00:44:48	ていうところで、どう白いハッチングになるのかなと思ってます。ちょっとここで黄色ハッチングかけてる意図っていうところが、正しく説明できてなかったところなんですけど、
00:44:58	この上と下の表を比較した時に大きくなる方黄色ハッチングすると、という考えのもと黄色ハッチングしていき、その中で一番上の12.90と13.0を比較した場合には、
00:45:12	ちょっとここは逆転しているなというところがありますのでそこを注釈で書いていたというところがちょっと前、その資料としての、
00:45:20	正しくできてるところでいうとちょっと正しく記載できてないところかと思しますので、ちょっと検討したいと思っております。
00:45:32	いやねそれはちょっとわからないですね。
00:45:36	で、
00:45:39	結局この、
00:45:40	9.1112号の9.11のところ、
00:45:47	これも追加解析により選定されないんですよ。
00:45:53	と北海道電力の青木ですと200ページ上段の12号取水口健全の9.11は、最終的な最大傾斜にならないケースというふうに考えております。ならないケースになります。
00:46:06	そうですね。196ページで書いてる9.34が、最大最終掲載、最終。
00:46:14	最終の最大ですよ。
00:46:17	じゃあですよ。やっぱりこれはね絶対ミスリードになってると思いますけど200ページの一番最後の、このケースだけ、追加解析により選定されないっていうふうに書いてるんですけどそれは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:31	1ヶ所じゃなくて2ヶ所あるんですね。
00:46:37	奥野青木です。その通りですので、
00:46:41	ちょっと正しくなるようなふうに検討いたします。
00:46:46	うん。
00:46:47	続いての質問が、じゃあねこれ。
00:46:53	説明聞けば納得するのかもしれないですけど、これ。
00:46:57	追加解析で網羅的にやりましたよと。
00:47:01	網羅的に重なるものがちゃんと重なる。
00:47:05	重なったときに、
00:47:07	必ず大きくなりそうなものを網羅的に掴めに行きました。
00:47:12	ていうのが今回の
00:47:13	説明の一番肝になってくる部分なんですけれども、
00:47:17	網羅的に掴みに行ったのに、
00:47:22	最終は、
00:47:25	ここ2ヶ所掴めていないというのは本当に網羅的に、影響が大きい波源を掴むようなパラスタだったんでしょうかと。
00:47:36	いう説明が、何か
00:47:40	考えがあるんでしょうか。
00:47:43	網羅的に恒つかみたら、ここも一番チャンピオンが出てきそうな気がしません。説明、説明を順番にたどっていくと、
00:47:53	でもそうならないのは、
00:47:55	何でなんんでしょうかと、それでもう網羅的につて言っている。
00:47:59	んでしょうかというのを聞きたいんですけども。
00:48:05	北海道電力の青木です。ちょっとここ背景のところもかぶってしまうところにある、になると思うんですが、今の最大ケースを記載しているところが、
00:48:16	5.8章のまとめというところで196ページ。
00:48:21	と考えております196ページになります。
00:48:25	この更新する前の最大径数というものが197ページに書いておりまして、197ページの、
00:48:36	この緑色のケースというところが大きく青に変わって最大ケースが更新されたというところでもともとあった断層パターン6の緑色のケースっていうところは従来の検討における最大ケースっていうところでは更新されなかったというところになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:53	この更新されるメカニズムっていうところで、198 ページで、断層パターンなのは芸。
00:49:01	についてはアスペリティ位置を変動させると大きくなって、
00:49:06	最悪ケースが更新されたというところでちょっとそれ以外のところっていうのが今聞かれているところかと思っておりますその断層パターン6のケースは、もともとどういった形ですかっていうところなんですけれど、
00:49:18	こちらについては地震に伴う津波の最大ケースっていうところで断層パターン6の波源が選ばれておりました、その波源を、
00:49:27	検討して組み合わせしたものっていうところで、もともとの波源として水位が大きいものというふうに変定されたものになります。そちらがもともと地震津波として大きいものを、
00:49:38	というも能が組み合わせ評価でも大きくなっているというところはここで表れておりました、今回検討でやったものについては断層パターンなの、地震の津波、
00:49:48	としては大きくないけれども、重なると大きくなるケースっていうところで、この断層パターン7が、この更新されたという立て付けになっております。資料上、網羅的に検討して、
00:50:01	選ばれるべきじゃないかっていうところも、おっしゃる通りかと思っておりますその説明の中で、今回の肝になるところがこの断層パターン7の追加解析っていうところなんでそこに焦点を当てて、
00:50:12	資料化しているというところと考えております。以上です。
00:50:20	はい谷です。根井多分その辺をまず説明をして欲しいところなんですけれども。
00:50:28	ただ根井今の説明を聞くと、
00:50:32	何か説明しきれてないなんて思ってた、
00:50:36	僕はじゃあこれ何、今の検討の過程で、どこで、どこでじゃあこういうのが選ばれないのかっていう
00:50:47	そういう目で見たら、これ概略パラスタを選定するときに選ばれないんですよねここの派遣っていうのはね。
00:50:55	江田でも概略パラスタって、
00:50:58	北海道電力としては重なる波源のうち2、
00:51:02	その波源のうち一番、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:05	追加高くなろうでなるであろうものを選んだのが、概略パラスタで選ん だっていう理屈なんで、
00:51:12	そこと合っていない。
00:51:14	気がすると、ちゃんと説明してもらったらわかるのかもしれない。
00:51:19	で、
00:51:21	何が起こる、何かその辺のずれがあるのかなって考えると、
00:51:27	概略パラスタを選ぶ前に、
00:51:31	は、
00:51:32	敷地に対して一番こう近づく側の波源が大きくなるんですってという説明 をして、
00:51:39	選んでるわけでしょう。その重なるもののうち一番し、敷地に近いもの が水位として大きいんだっていう前提があって、そういう検討をしてる んだけど、
00:51:50	その前提が正しくないんじゃないかなっていうふうな話に
00:51:55	なってい行きかねないような結果。
00:51:58	かなと思ってるので打つ集まりもちょっと具体的に言うと、
00:52:06	黒字の場合はひょっとしたらそういうことが起きるのかもしれない。
00:52:11	矩形でも起きるのかもしれない。
00:52:13	とか、そこがね、何かよくわからないんですよ。で、これ、もし前提 がこれ違うんじゃないんですかっていう話を、
00:52:23	講師始めると、今の本当の最初の時点でこけそうな話なので、
00:52:29	何かそこはね分析するなり何なり、
00:52:33	ちゃんと説明してもらわなきゃいけないなと思ってて、今のところは何 か
00:52:38	その説明が資料上わからないし、ちょっと青木さんの説明を聞いて、
00:52:44	聞く限りでは、ちょっとこの辺の
00:52:51	疑問、網羅的な
00:52:54	2項、組み合わせで高くなるものが選ばれない理由ってというのが、ちょ っと、
00:53:01	しっくりこないかなと。
00:53:04	思っています。
00:53:07	ちょっと説明は加えてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:53:14	はいどう電力の青木です。当社としても、その 196 ページで更新された波源については、主に分析多くしているところになりますけど逆に更新されなかったところ、
00:53:27	二つの波源が該当するんですけども、これについて何で更新されなかったのかであったり、更新されなかったとしてこのケースは、最大っていうものは現として妥当なのかっていうところを今問われていると考えておりますのでその辺りがわかるように、
00:53:42	資料下の方検討していきたいと考えております。以上です。
00:53:47	はい、谷です。
00:53:48	お願いします。あとはだから、その前提が正しいのかっていうところです。ねその検討、検討に、
00:53:55	当たって決めた前提はこれでいいんですっていえるかどうか。
00:54:01	ちょっと審査みたいな話をしてしまってますけれども、北海道電力の考えとして、
00:54:10	近いところが高いんです。
00:54:13	いえるのか。
00:54:15	どうなの。
00:54:16	健全地形のときだけはそうは言えないのか。
00:54:20	とか、
00:54:21	ちょっとなんかいろんな要素があると思うんで、
00:54:25	分析してくださいと言いませんけどちょっと考え方をね確認、
00:54:30	そして、わかるようにしてください。
00:54:40	続いてなんですけれども、これもちょっと技術的な方の
00:54:47	これね
00:54:49	概略パラスタをやりましたっていうところがあっつくの字モデルと矩形モデルで、
00:54:56	結局、
00:54:59	矩形モデルを選んで、
00:55:02	でやったのかな。
00:55:05	パターンなのパターン 6。
00:55:08	その辺の説明がね、何か。
00:55:14	何かよくわからなかったんですけども、
00:55:20	ちょっとページどこでしたっけ、あの矩形と黒字のうち、どっちかをやりますっていう、あんまりこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:27	変わらないから、こっちをやりますみたいな話をどっかでしてたと思うんですけども。
00:55:33	当北海道電力の青木ですと東井戸と西井でちょっと考え方、結果が違うというところで東井戸の場合から説明させていただきます。
00:55:43	とまずう東移動の場合は、
00:55:47	重なる波源を特定するっていうフェーズのところで、
00:56:12	121 ページをお願いいたします。
00:56:22	こちら、上段が東二移動の場合というところでこちらの検討結果については、上段のうち、さらに上段に負けてるものが矩形モデルで、
00:56:33	この断層パターンごと 7 については矩形モデルだと、この組み合わせ時間範囲にピークが入って重なるという結果なりこの二つのケースを対象にしておりまして黒字のケース。
00:56:44	については対象外というふうにしております。一方西移動の場合については、矩形と黒字、両方検討いたしまして、その矩形と黒字のは形見た上で厳しくなる方を選ぶというふうに整理しております。
00:56:57	その西井戸の場合ですと、ちょっと結果の方ですと黒字モデルの方が水位、水位が大きくなると、結果が出ておりますのでそういった観点でまとめております。そこはわかるところが、
00:57:08	168 ページと 169 ページになります。
00:57:15	こちらにシードの筧と久野字の葉系を比較したページとなっております。以上です。
00:58:09	はい、谷です。
00:58:11	そうですね。江藤 160。
00:58:28	168 で言ってるの何て言ってんだっけ、9 区の時だけを選びますって言ってんですよね、これ。
00:58:40	パターン僕は。
00:58:46	パターンごとパターン 6 の話をしてて、
00:58:52	パターン 5 は、
00:58:54	小さいから選べません。
00:58:58	うん。
00:58:59	パターン 6 は黒字の方が大きいです。
00:59:06	だったっけ。
00:59:07	168 号、7 名、なんでこれ黒字を選んでるんでしたっけ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:12	北海道電力の青木です。168 ページについてまず断層パターンの違いっていうところで、ご登録費、オレンジ系と緑系で分けておりまして緑系の方が大きいというところでまず断層パターン 6、
00:59:26	に絞り込んでおります。この断層パターン 6 の実線は、矩形モデルは 1000 枠野地モデルというところで、この対象の PEEK 見ていくと、算。
00:59:36	フィックよりも黒字の方が大きいというところがありますので黒字モデルを選定している。
00:59:42	ところになります。
00:59:51	うーん。はい、えっとねーん。
00:59:57	ちょっとこれ文章が何か。
01:00:00	これ
01:00:01	5 と 6 を比べると 6 の方が大きいから、まず 6 にしますよとして操作さらにその 6 の中でも詳細パラスタのね。
01:00:13	検討とする、6 以外については、
01:00:20	うん。
01:00:22	パターン 6 区野地モデル西へ 10 キロとした波源に代表させる。
01:00:30	とする。
01:00:37	だからこここれこれね。
01:00:39	5 と 6 の関係登録の中でも久野氏と矩形の話と、一遍に話一つの文書でしてるってことね。
01:00:49	なんかねそうそういうのをね、
01:00:51	ちゃんと順番。
01:00:53	説明して欲しくっていう。
01:00:56	黒字の方が大きいから黒字にしたっていうことですね 66 についてはね。
01:01:01	それでいいですね。
01:01:04	その通りですんで、169 は、
01:01:13	同じだから、ここはちょっと違うんですよねまた矩形とくの時は、
01:01:21	同じだから区の時に代表させる。
01:01:29	でいいんですかね。
01:01:33	北海道電力の青木です。とは形を見た時に実線と破線を見ていくと、明確な違いが出てこないっていうところで表現として概ね同じと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:43	いうところを前置きで書いた上で、細かいところを見ていくと、黒字も出るの大きいのかなというところで、彼女モデルにしているところを、一文目のセンテンスで表現したいところと考えております。
01:02:17	なんかね、この辺の方を書き方が何でこれが選ばれるのかっていうのがすごいわかりにくくて。
01:02:40	は形が同じだったらどちらかのパターンに代表させる。
01:02:46	で、は形が違うときは、両方を選びます。
01:02:53	断層パターンとしては、だから、168と169が違う。
01:02:58	うんですかね。で、さらに、
01:03:02	くの字と、
01:03:04	矩形は、
01:03:07	何か違ったら、
01:03:09	どっちかを選べるっていうルールなんですかねっていうのがね。
01:03:13	何かよく。
01:03:15	見てて、
01:03:17	何となくわかるんですよ、何となくわかるんですけど、そもそもの考え方がわからないって言うところ、なんでこの168と169が違うのかとかですね。
01:03:28	あとは、
01:03:30	何かページによってもちょっと説明が違ってるところがあるんですよこの辺の説明の仕方が、
01:03:37	ちょっと何か正確に考え方を考えて欲しいんですけども、これ多分そもそもどうやって選んでいくんですよっていう方針めいたものが最初に、
01:03:49	あってしかるべきなんじゃないのかなってこれ何か北海道電力の説明の仕方は、結果がこうなったので、こうしてみましたみたいな、こう、
01:03:59	結果ありきで、
01:04:01	こうしてるっていうふうに僕は見てしまうんですけども、
01:04:06	何カーがあるんですかそもそもの考え方っていうのがどっか書いてあるんだったら、
01:04:13	ちょっと私、
01:04:14	もう少し考えますけど、これ前々のヒアリングでも聞いたんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:37	北海道電力の青木です。ちょっと 168 ページの方の一つ目の下段の丸なんですけれども、第一波の派遣が概ね同じであることを踏まえ、っていうところ。
01:06:48	ちょっと記載がまとめて矩形くの字とか、断層パターン 5 と 6 の四つのケースを踏まえてちょっと記載しているところでわかりづらかったというところかと思っておりますここちょっと正確に書くと、
01:07:00	169 ページと整合する形で書いていくと、第一波のは計が 168 の方で、
01:07:08	矩形と黒字で概ね同じであるというところを踏まえて、
01:07:12	黒字モデルに代表さ整理等をするというところの考え方同じかなと思っ てます。断層パターンごと、
01:07:20	6 見たときには、ちょっとは形としては一緒というのはちょっと乱暴な のかなというところなので、そこを踏まえた上で、とは形が違って断層 パターン 6 の方が大きいので断層パターン 6 を選ぶと。
01:07:33	こういう考え方がわかるような形で資料修正を図っていきたいと考えて おります。以上です。
01:07:41	はい、井谷です。だからついでに言うと、
01:07:45	パターンの違いっていうのがある断層パターンの違い。
01:07:49	その断層パターンの中にはくの字と矩形っていうのがあると。
01:07:54	これを一色単に書かれるから、わからないのと、
01:07:58	あとはそれぞれをそもそも北海道電力としてはどういうものを選んでい くんですっていう、宣言めいたことが最初に、
01:08:10	あったらね。
01:08:11	なるほどこういう考えで選ぶんだね。それぞれに沿って選ぶとこうなる んだねって。
01:08:17	いうのがわかるんだらうと思うんですけれども。
01:08:25	大体、
01:08:26	あれを、これ 168 ページの中で、
01:08:30	これぱっとこれ文章のところを読んでいくと、
01:08:34	大体後のことも説明しようとしているのか、断層パターン 5 のことを説 明しようとしているのかどうかもわかんない文章ですよこれ。
01:08:44	どっちかというとなんかねこれは選ばなくていいんですっていうよう な説明をしてもらった方がいいのかもしれないんですけれども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:56	何かその辺の説明の仕方をね考えて欲しいなあというので、言ってるのと、あとね、ここに書いてある説明が本当になんか他のところのページで言う、
01:09:07	おんなじような説明になってるのかなってというのが、
01:09:11	ちょっとごめんなさい僕なんかこれページによってちょっと違うんじゃないかなって思ったところがあって、
01:09:19	今すぐにこうここですって。
01:09:23	出てこないんだけど、ちょっと確認してください各ページでね、同じような説明になってるかっていうのは、
01:09:32	片方で、片方の親切さがないだけなのかもしれないですけどね。
01:09:38	丁寧さがないというか、
01:09:40	あとは、詳細パラスタはこの間もうヒアリングで言ってるんですけども、
01:09:48	そもそも、
01:09:54	評価項目毎地形ケースで、
01:09:58	チャンピオンが違うようなときに、詳細パラスタとしては、
01:10:05	どういうものを、
01:10:07	どういうパラメーターを聞くと判断するんですかっていう、その辺の説明を、
01:10:13	まず考えが、よくわからないですよってというのがあって、
01:10:18	さらに言うと、じゃあ詳細パラスタって、
01:10:24	何か
01:10:27	今回、
01:10:30	教員 C がどれが効くとかかいうのをやってなくて、
01:10:36	順番。
01:10:37	この詳細パラスタをこう順番を決めてやらなくて、
01:10:42	いいのかとか、
01:10:45	多分詳細パラスタって普通に、
01:10:47	個別の波源を選ぶときはあれなんですよね。
01:10:51	どっちかのキックパラスタばらパラメータを決めたと、次に進んでるんじゃないかなかったですかね。例えば、
01:10:59	アスペリティ位置を一番きくのを選んだと、そのあとに上縁深さに進んでないですっけ。
01:11:06	今回そういう考えじゃないですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:10	なんかねそれが地震単独で選んだときと同じような考えじゃない、ないけれどもこれでいいのかなとかというのも、
01:11:21	ちょっと、
01:11:25	よく、
01:11:26	わからなかったしこれ下手したら、いやこれは足りてないんじゃないんですかみたいな。
01:11:34	考えにもなるかもしれないんですね。で、
01:11:39	少なくともどこの影響。
01:11:41	影響が小さい影響が小さいというのは書いてるんだけどそれが具体的にどう、どういうふうに考えて影響が小さいのかっていうのも、
01:11:49	よくわからないねっていうのがあって、ここはどういうふうにこう説明していくかっていうのを、
01:11:56	考えてもらえたらなと思います。
01:12:04	当北海道電力の青木です。
01:12:06	当評価因子とパラメータの検討の順番というところで、谷さんおっしゃってたところ地震津波のパラメータスタディの中で、最大パラメータ振った時の最大値と最小値の差分とった上を、それを評価、
01:12:21	影響因子としてその数字でちょっと順番を決めていたというところに対して今回の検討だと、断層面上縁深さとアスペリティ位置、
01:12:31	の検討が直列というよりは並列に検討しておりますとその検討の考え方違うところが、どういう考え方なのかっていうところが、説明されていないっていうところかと思っておりますので、
01:12:44	その辺りの考えわかるようなふうに記載の適正化を図っていきたいと考えております。
01:12:49	またもう1点、
01:12:51	アスペリティとか時上縁深さの検討の中で、影響は小さいっていうところをどういったところで影響小さいと考えているのかというところなんですけど、
01:13:01	ここをまず、さっきの概略パラでもありましたがは形見た上でもう八景が大体重なっているっていうところを踏まえた上で影響は小さいというふうに考えておりますので、その辺りもわかるようにしたいと考えております。以上です。
01:13:17	入ったんです。影響因子の話はね多分こう部品はありそうな気がするんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:23	確かに影響は小さいという。いうのはこれを細かく見ていけばきっとそうなんだろうなと思うんだけど、
01:13:33	何かこれだけいっぱいあるものをですね、こう1個1個のグラフをたどっていかないとわからないっていうのはちょっと、
01:13:44	厳しいかなと思います。
01:13:46	結局その今回いろいろ、
01:13:49	波源のパラメーターもそうだし移動量っていうのも、これ、これは基本的にはパラメーターした。
01:13:57	パラメータスタディと言っていないけれども、北海道電力はもう断層パラメーターの話1の話。
01:14:05	そのあとアスペリティ位置の話、上縁深さの話。
01:14:10	そういったいろんなパラメーターを検討していったわけですね。そこをね、
01:14:21	何か北海道電力の話の話をたどっていくと随想に影響を与えるものを持ってきましたよと。
01:14:29	そこを最初に出しました。
01:14:31	それ以外は後で詳細パラスタとかでやります。
01:14:35	ていうような話なんだと思うんですけども、それがね多分最初にパラメータっちゃうの、スタッフが何、どうどういうパラメーターがあって、それに対してこうこう考えましたっていうのが、
01:14:48	何かね説明がないと、うーんといきなり、
01:14:54	波源位置沖講師ましたとか、そこその中には、
01:14:59	アスペリティ位置は関係ありませんとか言われてもなかなか難しくて、いやアスペリティー井行って、
01:15:08	見る人は見ると、アスペリティ位置が変わると。
01:15:13	到達時間変わりますよね。
01:15:16	見るわけですね。
01:15:21	到達時間変わるのにどうして選ばなくていいんですか。
01:15:25	ていう説明を、
01:15:28	を聞くと、
01:15:31	あれですね。
01:15:32	離れると小さくなるからっていうトレードオフがありますからとかいうのが、
01:15:37	あれがどこに出てくるんでしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:15:41	衛藤電力の青木です。本編資料の 118 ページに書いてあることかと思 います。
01:16:20	106 ページなんですけれども、
01:16:24	やっぱりこれを見てねアスペリティ位置ってというのは、位相 2、
01:16:29	影響してるじゃないかと。
01:16:32	ていうことを言ってるんだっけ。っていうふうに見る人は、見ると、
01:16:43	でも、
01:16:53	なんで見なくていいっていう話でしたっけこれ。
01:17:47	アイソレどこに書いてあるんですっけ。
01:17:54	当北海道電力の青木ですと 118 ページにそのアスペリティ位置の考え方 をまとめております。
01:18:06	藤。
01:18:07	ちょっと下の図だとわかりづらいかもかもしれませんが、この第一波のピー クと第 2 はのピーク、まともにアスペリティ位置をデイリーの条件から 変えていくと、どんどん、
01:18:19	水位も下がっていくし、ピークの位置も若干右の方に移っていくという 傾向がございます。前半の概略パラメータスタディの中で、この第一波 のピークが第 2 版のピークが、このピンクの枠の中に入るような条件。
01:18:34	東西方向位置に、チューニングした後に、そのあとにアスペリティ位置 を変動させていくと、このピンクで入っていたファンドのものからどん どん離れていく方向になる。
01:18:45	ていうところがまず 1 点。でもそれに加えて、前と離れていく状況プラ ス、この第 2 はのピーク自体の推移も下がってってしまうっていうと ころのこの 2 点の考え方から、スペリティ 1 は、
01:18:58	D 付近の条件を基本に検討しているというところになります。以上で す。
01:19:18	可児です。
01:19:24	それがねえん。
01:19:35	何かだからパラメーターがさっきも言うようにこうありましたよとその 中で、
01:19:42	ちょっと 6 ページを開いてもらっていいですか。
01:19:57	33 ページのはさ、ナンバー 33 のコメント回答方針、回答概要か、各断 層パターンに対して一層に影響を与える。
01:20:06	断層パラメーター、この位相というのは時間の話ですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:20:10	それがまた L1 断層パラメータ。
01:20:15	が、
01:20:17	この二つですよ。
01:20:19	と言ってるんですよ。
01:20:23	これらを対象に検討する方針とする。
01:20:27	てなってくると。
01:20:28	いやあ、これ。
01:20:30	アスペリティ 1 だって、
01:20:33	これ変わってます米井と磯という到達時間書いてますよねっていうのは強いが、
01:20:40	投稿説明があってこなくなったりして、だから、
01:20:46	ちょっとパラスターをどう、どうパラスタというか、検討の中での、
01:20:51	過去パラメーターをどう扱ってるのかっていう全体をこうはっきり、
01:20:55	するようにして欲しいし、
01:20:58	うん。何か D を基本にしています。
01:21:04	で、
01:21:05	離れると遅れるんですよ、だからいいですよっていうその辺の話はねちょっとこううまく説明しないと、私聞いてて、ピンとこなかった、むしろ
01:21:15	振幅が小さくなる方に働くんですよっていう話を前されてたような気がし、
01:21:23	そっちが主だったような気がするんだけど、
01:21:26	うん。
01:21:27	うん。うんで提訴そういう脳の考えがね。
01:21:31	説明していただけたらと思います。
01:21:44	北海道電力の青木です。衛藤。
01:21:47	検討概略パラメータスタディ 詳細パラメータスタディでどういったパラメータ振っていくっていう順番に関わるところで、
01:21:55	その流れの考え方とか、水に効くの階層に効くのかっていうところが、資料から読み取りづらっていうところのコメントとは替えておりますのでその辺りわかるような形で検討したいと考えております。以上です。
01:22:08	井谷です。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:11	お願いします。あとねやっぱり 23 ページ以降の第 2 版による影響っていうので、
01:22:18	一応何か北海道電力としては 24 ページは一応念のため、念のためこういうのをやりましたよっていう書き方をしてるんですけども。
01:22:28	もうね多分。
01:22:31	多分こう説明が飛び過ぎてて、
01:22:36	何で 25 ページで断層パターン 6 を対象にして、
01:22:40	ご確認すればそれだけでいいのかっていうのが、
01:22:45	あんまりこう、
01:22:47	うん、明示的にわからない。かつ、
01:22:51	26 ページで、
01:22:56	この検討も何か頑張ってる。
01:23:00	だと思うんですけども、かといってこれね。
01:23:04	上の表と下の表で比べていいものなのかなってちょっと思っ
01:23:08	ています。それはなぜかという、
01:23:12	結構、
01:23:14	上の表の、
01:23:16	川白の第 2 はと、地震の 2 班の組み合わせ評価っていうと、意外と高いんですよそれがね。
01:23:23	これ意外と高いっていうの僕どこを見て言ってるかっていうと健全地形の例えば膨張て前面のところ、
01:23:33	これ、これ、
01:23:34	50 センチぐらい違う。
01:23:36	45、40、46 センチ違う。
01:23:42	だけど、
01:23:43	よく考えたらこの下の表って、
01:23:47	詳細パラスタまでやって、
01:23:49	タヒツ結果ですよ。
01:23:52	上の方は、
01:23:54	これ組み合わせで大きくなるような詳細パラスタとかまでやってない。
01:23:58	結果ですよ。
01:24:01	てなってくると、
01:24:02	本当に何かこういうここの比較が本当に高透過のかと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:08	いうちょっと疑問が出てき聞きます。ただこれこういう検討をしてるっていうのは、
01:24:16	ちょっと具体的に示そうとしてるっていうのはそそれはですね私して否定するようなことじゃないと思ってるんで、何のためにやってってこの、こういう結果がどう、どう扱うべきなのかっていうのを、
01:24:28	何のためというか、この断層パターン6を、
01:24:32	やっとけばいいんだよみたいな説明をしっかりとこうして欲しいなと思うのと、
01:24:38	そもそもこれ
01:24:41	確かにあの会合の指摘事項は第2版の話第2は、
01:24:45	このPEEKって言って残ってるんですけども、
01:24:48	これそもそもこの第3%とか第4はとかって、
01:24:53	そういうのは見なくていいんですかっていう。
01:24:56	そこもちゃんと説明すべきなんじゃないのかな。
01:25:00	多分
01:25:04	第2班以降の後続はっていうような言葉も、会合で言ってるけれども
01:25:09	確かに審議結果はね。
01:25:12	第2はって書いてるんですけど、
01:25:16	それをね、説明するんだったら、
01:25:20	ある程度地震の津波、
01:25:24	地震のによる、
01:25:26	津波の
01:25:28	影響が大きなところとどこまでは重なるのかとか、
01:25:31	そういう話をされた方がいいんじゃないのかなと思うんですけども。
01:25:35	ちょっと言いたいのは、
01:25:37	これだけで説明するのはちょっと、
01:25:42	十分に伝わってきてないですよっていう、検討の趣旨がですね。
01:25:49	お話。
01:25:57	北海道電力の青木です。ちょっと、
01:26:00	順番に説明させていただきますとまず、定量的評価の第2はの地震津波に羽鳥断層パターン6選んだ理由というところを、
01:26:12	なんですけれども、補足説明資料の方にありまして、
01:26:20	こちらの66ページが該当しております。
01:26:34	藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:35	まず第2はのPEEKってところが前段で、65ページのところで、
01:26:40	頭の2は地震津波の2は、というところを選んだところになります。そこから地震津波の2は年断層パターン6がいいのかどうかっていうところ66ページで整理しております、
01:26:53	まず左上の断層パターンごとの違いというところで、この第2版のピークに該当するところのは下見ていきますと緑線の断層パターン6のケースが一番大きくなってくると。
01:27:05	また右上アスペリティ1とかで言いますと、赤線のデイリー南20という条件。
01:27:11	また左下の箕狩野千田と久野G右下断層面上縁深さ5キロというところで、それぞれパラメーターいろいろ分析した結果断層パターン6の、
01:27:22	この波源が一番大きくなる条件というふうに整理しております。
01:27:26	一方、65ページの条件ですと、第2はのピークの紫の破線、
01:27:33	その範囲に、まず入ってこないと、Cが大きくならないというところもわかっておりますので、そういった意味で東西方向位置だけ、この状態から若干ずらして検討しているというところになりますそちらが67ページで書いてるところになります。
01:27:53	切られた結果が68ページの組み合わせ評価にてルートというところで、ちょっと概要のところですとここら辺の流れをちょっとコンパクトにしたというところで、
01:28:04	考え方と結果だけを示しているというところになりまして、検討としては、この辺りの、
01:28:10	いろいろなパラメーター考慮した上でこのケースを選んでいるというところになりますと、
01:28:17	以上です。
01:28:19	井谷です。
01:28:20	それからこの断層パターン6でもこの1DP、第2版が大きくなるようなパラスタまでやってるから、
01:28:28	だからここで重なるものを、
01:28:31	としてこれを選べばいいんだっていう話ね。
01:28:34	なんかね多分。
01:28:36	そういうのが、
01:28:40	うん。
01:28:42	今の資料では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:28:45	よくわからないし、これでもなかなか説明も難しい花 C ですね複雑ですね。
01:28:53	多分何かやっぱりでも伝わるように、
01:28:56	してもらわないと。
01:29:01	これを説明するだけで結構時間かかりそうなの。
01:29:05	話ですね。
01:29:08	いかにわかりやすく伝えるのか、だから 68 ページってこれ、
01:29:13	68 ページのごめんなさい。
01:29:16	68 ページ、補足ですね。
01:29:19	これだから比べてもいいような、こう比較っていうことになってるんですね。
01:29:27	はい。
01:29:32	もう 1 点は以上です。
01:29:35	北海道電力の青木です。あともう少し前段の整理というところで、川白にはのみで今回整理しているというところなんです。それ以降の後続はの影響がどうかというところについて答えさせていただきます。
01:29:49	まず 24 ページのところ、
01:29:52	大きい考え方っていうところにつきましては、川白の単独の葉系を見た時に第一波のピークが最も大きいというところで組み合わせた場合についても、川白の一発組み合わせたものが一番厳しくなるというふうに考えております。
01:30:07	それに加えて第 2 は移行がどういう影響あるかっていうところは考える必要はないというふうに資料上まとめておりました念のため検討したというふうに今回修正させてもらったものになります。
01:30:19	念のため検討するに当たって、
01:30:22	2 羽でいいのかとかっていうところについての補足をさせていただきます。
01:30:26	どちらが 25 ページのところになりまして、
01:30:33	まず第 2 はと重なる可能性があるものっていうところを検討したときに、
01:30:38	東西に移動させた、これまでの結果を踏まえると地震津波のサンパのピークか 2 羽のピークかという考え方になりまして、
01:30:46	あと地震津波のサンパと 2 羽を比べた場合には、派遣を見たときには、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:51	全体的に第2班のピークの方が大きいだろうというところで、川白に羽藤地震津波の2羽を選んでおります。それに加えて地震津波の2羽がどういった特徴あるかというところで、
01:31:03	地震津波として1把から4浜で大きいPEEKあると考えておまして、その中でも第2はのピークが一番大きいというふうに考えておりますので、川白200としては小さいけれども地震津波の2としては、
01:31:17	地震津波のピークとしては、もう重なる2は大きいと言う考え方を踏まえて、2羽と2羽の影響を定量的に検討したというところになります。以上です。
01:31:57	谷ですけど。
01:32:00	ちょっとね、
01:32:02	あと説明を聞くと、やってることの何となくわかるんですけども、資料を見てってねそれがわかりにくいし、
01:32:13	何で2は、でもさ、24ページとか見る等、
01:32:23	川白第4パカ。
01:32:26	大きかったりするやつありますよね、2羽よりも。
01:32:30	そこはどうなるんですかとか、
01:32:36	ここは、
01:32:38	ここは、
01:32:39	もう
01:32:41	地震の2はっていうのは、ここにはもう来ないんですかとか、
01:32:46	そうそういうちょっとこう、説明員の形がないかっていうのも、
01:32:51	考えて欲しいし、
01:32:55	なんで、2羽と2は、25ページで説明している何羽と2は、は検討を特別しなければいけなかったのかという背景を言うと、
01:33:06	断層パターンは6っていうのは、
01:33:10	ユニハは、
01:33:12	一般に重ならないから、
01:33:15	川白の一般に、
01:33:18	重ならないから、こんなことになったっていいんですかね。
01:33:23	だから、2羽と2は
01:33:27	比べてみた。
01:33:30	でしたっけ。
01:33:31	パターン6って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:33	第一課と重なるんでしたっけ川白。
01:39:19	北海道電力の青木ですと今回の資料ちょっと入口論のところ、川白の新浜でっていうところをちょっと頭にあったので、後続は-3-8というところの考えが至ってなかったので、そのあたり、
01:39:32	ちょっと頭の体操を含めて考えてみたいと思っております。またそれに加えて、対象になる。
01:39:39	どれとどれを組み合わせるかっていうところの考え方であったり、地震津波として大きいピークはどれかとかそういったところを全体的に踏まえて、
01:39:49	整理した上で、どう、どういった評価をやっていくかというところを検討したいと考えております。以上です。
01:39:55	はい、谷ですまあね検討の根本の考え方っていうのわかるようにしてくださいという、そういうことで、検討結果をこういので証明できてるのかもしれないんですけども、
01:40:07	ちょっとね今の資料の説明は、本んよ読んでても、ちょっと難しいですねは、す。
01:40:16	理解するのがね。
01:40:20	ちょっと次に移りますけど、
01:40:25	各校カー案はね。
01:40:28	前回ヒアリングでも言いましたけど、保守的な時間の説明っていうのは、
01:40:34	やっぱり大分足りてないんだと、改めてこの1週間もし資料見てて思いました。
01:40:44	大体これは、
01:40:46	どうやって、
01:40:48	け、どうやってこの時間を出してるんですかっていうのを、どっかのページ使って説明してもらっていいですか。
01:41:00	当北海道電力のは大きいですと保守性を考慮した時間の最大ケースっていうところを、を示したものが、
01:41:09	すいません本編資料の、
01:41:14	100、212 ページの一番下段になっておりまして、ここの最大ケースがどういうふうに使われたかっていうプロセスについて説明して欲しいと。
01:41:25	いうふうな、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:41:27	212 ページですね。
01:41:34	どういったプロセスで選ばれてるかっていうところの説明させていただきます。ちょっとこれ地形モデルごとに、検討のプロセス変わってや ってることは一緒なんですけれども、最終的な結果が変わってきてまし て、
01:41:49	どういうはげが選ばれているかというところをちょっと口頭で補足させ ていただきます。
01:41:53	一番右側の防波堤の損傷高齢者地形モデル③の 863 秒のケースについま しては、こちらは、
01:42:05	地震津波の最大ケースを対象に、組み合わせの時間差を 5 秒刻みで検討 した結果選ばれたケースというところでもともと地震津波の最大ケース っていう経緯からチャンピオンケースになっております。
01:42:19	その中で地震津波の最大ケースがどこに書いてあるかっていうところ が、
01:42:26	ごめんなさい聞き方悪かったですね。
01:42:29	これで 213 ページで、
01:42:32	保守性をした子、考慮した時間っていうのが、模式図で書いてあるんで すけれども、
01:42:42	これを言葉で言うとうなるんですか。衛藤。
01:42:51	定義ってどっかのページにあったんだけど、
01:42:54	どう、どういう。
01:42:57	定義合ってるんですか。
01:43:03	城電力の青木です。保守性高齢者時間の定義については 209 ページ。
01:43:08	まとめておまして、上昇側の 2 は上昇側の 4 はの間のところで、沖下 降側が出るというところでの間をつなげると、というような評価で保守 性を考慮した時間を算出しております。
01:43:21	以上です。
01:43:23	うん。多分ね何かそこの説明がまず足りてなくて、
01:43:29	だって僕らこれ資料見てですよ、2 羽と 4 班の間にしかこういう取るべ きものがないっていうのは、
01:43:37	どこを見たらわかるのかっていうのがよくわからなくていきなり 8 と 4 班の話があって、さらに言うと、この時間のとり方って、
01:43:47	TP-4 メーター。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:54	下回る時間でいいんですかね。それ、TP-4メーターっていうその定義が、この絵を見て、
01:44:05	くみ取ってくださいっていうのは、それはちょっとないかなって思うのと、大体第2は、第4は、
01:44:12	どう、
01:44:13	定義、
01:44:14	されてるんですか。
01:44:16	とか、
01:44:27	と北海道電力の青木です。まず209ページの
01:44:33	貯留時期の天端高さがTP-4メーターなのでそれを閾値にして下がっている葉系を抽出しまして、その中の2羽とはの間になります。はい。
01:44:46	と、
01:44:47	2羽と4羽の定義については、210ページ211ページのところで書いておまして、
01:44:56	第2版については岩内側からの反射は、第4版については、それから形見た上で、およそ25分後ぐらいになるところ。
01:45:10	ごめんなさい具体的な数字は書いてないんですか。
01:45:13	211ページのは形でいうと、右上にはっきり書いておまして、
01:45:18	それに相当するスナップショットを下のところに書いております。
01:45:23	上昇側の第2版については、この葉系で言いますと、20分から22分、
01:45:28	そこから
01:45:31	20分後ぐらいで来るものが第4は、になってきます。ちょっとこの、
01:45:37	そう。
01:45:38	理想といいますかは形の、
01:45:40	到達する時刻とかについては東西方向位置が変わると、それぞれ変わってくるので、ここは系見た上で一般には48というところを定義しているものになります。
01:45:51	その確認が、
01:45:53	210ページの一番左上のところで、
01:45:57	補足説明資料の、いろいろな八卦見た上でそういうところを確認しているところを書いております。以上です。
01:46:06	はい、谷です。
01:46:07	えっとね、多分これー。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:09	定義本当にちゃんとしようと思ったら何か難しいなって僕思ってた、何でかというところ例えば 211 ページで、
01:46:19	算を使っていくと第一波、第一波っていうのは最初に来る初動みたいなもんなので、わかりますよね。
01:46:28	第 2 はっていうのも反射はなんですだから、第一波から何分遅れてくるんですっていうので大概定義できるんだと思うんですけども、第 3% っていうのは、
01:46:41	何かこの第 2 月第 3% の間にこうちょこっとうできるじゃないですか。
01:46:45	この、
01:46:46	尾根ばかり考えてると。
01:46:49	第 3% で、
01:46:52	ていうこうなんだろう定義するんですかねっていう話になるわけですよ。
01:46:58	で、
01:46:59	おっしゃるように確かに地震発生してから第 3% が到達する時間は大分違うでしょ。その波源位置によって違うでしょうけど、
01:47:10	これは、
01:47:11	第一波が到達してから何分後ぐらいに来るやつだとか、
01:47:15	こういうふうに来てくるやつっていうのが、
01:47:20	定義されないと、なかなか第 4 は、代表、第 4 はって、
01:47:28	僕ら全部のは形を見ていくわけでもないんで、
01:47:34	何かちゃんと定義して、
01:47:36	C しないと曖昧かなと思うんですね。で、
01:47:41	さらに、
01:47:42	第 28 と第 4 版の間にしか、
01:47:47	-4 メーターより下回らない。
01:47:52	てわけでもないんですよ。何。
01:47:57	他の第 4 と第 5 班の間でも、
01:48:01	-4 メーターを下回る算もあるんですよ。
01:48:05	けども、
01:48:08	2 羽と 4 の、
01:48:18	だけを見ればいいんです。
01:48:19	ていうのがね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:22	いや僕もこれ全部の八景をもし見れたら、確かにそうなんだなって思うんだと思うんですけど、今のこの材料で、
01:48:30	どうやって説明するのかっていうのが何かよくわかんないの。
01:48:34	と思ってます。
01:48:38	何か思い説明できるんですか。
01:48:44	電力奥寺です。この第1はとか、第2はとか、
01:48:50	第4はてここうで模式的に、211ページで例示で書いてますけど、
01:48:56	一般には48っていうのを、
01:48:59	時間で置き換えて例えば20分過ぎとか、
01:49:04	40分前後っていうのはどの波にも見られる特徴ですので、その間が一番大きいっていうところをきちんと捕捉した上で、時間なり、
01:49:16	先ほどのTP-4メートルも、
01:49:19	貯留堰を下回るとは書いているものの、きちんと定量的に書いてないところありますので、
01:49:26	全体の特徴を、
01:49:29	整理した上でこの時間体にはこういうものが特徴あるといった形で、
01:49:35	きちんと
01:49:36	定義するようには可愛くするようなことを考えるのが良いのかなと思います。
01:49:45	当北海道電力の青木です。ちょっと210ページだと、ケースとして1例だけ示しているところになっておりまして、補足説明資料では検討した波源脳波系いろいろ確認しておりまして、
01:49:59	確かに第4版の後に加古川っていうところに出ております。ですがそちらの影響っていうのは、まず2羽と4班の間と比べると小さいっていうところを、本当のケースでも確認しているというところでまた、
01:50:12	衛藤第2羽とか第4は発生する時刻っていうのは概ね同じっていうところを確認しております。ちょっと先ほどの質疑応答の中で、波源位置が変わると、ちょっと位相がずれるっていうところについてはもうは系全体が横にずれたりとか、そういったところの話なので、
01:50:29	この2羽とか4羽のメカニズムっていうところはどの波源にも共通して出ているというふうに考えております。またその間の第3はっていうところは、ちょっとこれは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:39	波源とか地形モデルとかによって小さくなったりとかっていうのがあるので、ここは除外して保守性考慮した時間をとっているというところになります。以上です。
01:50:52	多く出られそう、ここで我々が2は4という言葉がつくを使うのであればそれが、
01:50:59	明示的に何を指しているのかっていうのをわかりよいように、説明考えたいと思います。
01:51:05	以上です。
01:51:10	そうですね。
01:51:13	いるそういう説明いますよね。
01:51:15	僕言ってるのはね400、補足の412ページとかで、
01:51:34	地震に伴うつつうの見てるけど第1はわかります第2はわかります。第3はどれだろうなってなって、
01:51:41	第4はどれだろうなってなったり、
01:51:45	散歩以降がどうどれが第3%でどれが第4版なのかっていうのを1個見てたらわかんないんですよ。
01:51:52	ね。なのでちゃんとこう、
01:51:56	どういうのが第4はっていう説明要るんじゃないですかっていう。
01:52:01	話。
01:52:06	で、あとはだから、
01:52:09	こうやってやりましたってガラガラポンで結果が出てるけど、
01:52:14	それを選ぶ過程としては、パラメータスタディあったんですそのパラメータスタディこうやったんです。
01:52:21	結果がどうやら欲しい。補足にあったんですよ。これ、選ばれていく経緯みたいなのかね。
01:52:28	それをヒアリングで青木さんに説明していただいて僕も、そのあと見て、あるんだなっていうのわかったんですけど。
01:52:37	どうやって選んで行ったのかっていう、その選び方っていうのは、
01:52:41	いるでしょうねだってこれ、
01:52:44	自身のチャンピオンを選び直すって話なので、これ組み合わせの中で何ページかでこう説明したら終わりって思ってたならそれはちょっと違いますよと。
01:52:59	いうところですよ。
01:53:06	あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:07	すいません、ちらっと見えて、
01:53:10	表0ですよ。
01:53:13	表泥酔の表で、
01:53:16	この9分、一番左の値評価、評価項目って昔してたところが、区分ってなってるんですけど、
01:53:23	なんで国分区分なんですか、僕。
01:53:26	そもそもこの
01:53:28	評価地点だったはずなんだけれども、
01:53:35	他の例えば僕ら審査書書くときには評価地点って言って書きますこれ。
01:53:40	でも、
01:53:41	はい地点って書けないんだなと思った理由は時間が入ってるから、
01:53:46	書けないのかなって思ったんだけれども、これも、
01:53:51	評価時点でいような気がするんですね評価地点が。
01:53:55	3号炉。
01:53:57	貯水堰を下回る継続時間なんでしょう。
01:54:01	で、すいませんこういう僕余計な話をしちゃってますけれども、
01:54:05	ここの区分はさすがにちょっとね、用語統一してないですよ、これ。
01:54:11	評価項目って視点ですよ。
01:54:15	うん。
01:54:25	ほんで加古川やっぱりね何が課題でどうして選んだのかっていうのか。
01:54:32	資料見てもね、これまでのこれまでの評価は、
01:54:37	振り返ったときに使え、使えるものなのか使えないものなのか、使えるんだけれども、やっぱりそれにプラスアルファしてやっていくのかとか、
01:54:47	そういうのが、
01:54:48	よくわかんなくて、今更これ過去の審査、
01:54:52	審査がすでに終わっているようなところまで立ち返って、評価を再度しますっていうこのモチベーションが何なのか。
01:55:02	ていうのが、資料上、
01:55:08	伝わってこないんです。
01:55:12	その辺は、
01:55:14	経緯のところでも、ちゃんと書いて欲しいなと思います。
02:01:59	だから何かし、
02:02:09	だからねそこの辺はねそうちょっとし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:02:13	何を何どうしてこれをやってるのかっていうのは、シンプルに説明してもらったらいいんですけれども、何かこう回りくどくこう言ってるのか安全側の評価となるように追加した。
02:02:26	とか、
02:02:28	追加するのが、
02:02:31	何かいいと思ったからやったんですっていうだけだ形で、
02:02:36	何か、
02:02:38	今までの分をして、否定というか今までの分をちょっと、
02:02:44	止めてまでこれにするんですよっていう話だと思うので、
02:02:49	何かすっきりと理由がわかるような説明をして欲しいんですなんかどっち、どっちつかずなんですよっていうのを言いたいよね、いるのか要らないのかどっちつかずなんですよこれは。
02:03:03	今までのでは、何か問題があったんですかなかったんですか。
02:03:08	ていうのがどっちつかずなんですよ。
02:03:11	いう。
02:03:12	そそういうことを聞いてます。
02:03:23	城電力、奥寺です。
02:03:26	まず、まずちょっとなぜ今この評価に変えるっていうところがわかりづらいというのでその辺の経緯を、
02:03:33	もう、よりわかりやすくしないといけないのかなと。
02:03:37	いうことと、この取り方、今我々が評価するやり方が、どうしてこれで適正なのかというところを、
02:03:49	ごちゃごちゃ私が言うのもわかりづらいのもう少しシンプルに、
02:03:54	わかりやすくというようなコメントかなと思いましたので、
02:04:00	ちょっとその辺、整理したいと思います。以上です。
02:04:05	はい、谷井です本書は経緯というかね、考えなんですよ今。今これがこうしなければいけない考えなんです。それをちゃんと、
02:04:14	こここうしたいんですなのか、こうこうこういうやり方がいいんですというその考えを、
02:04:21	今の資料では、何かもやっとしてますよっていう話です。
02:04:41	奥寺です。考え方ですね、これが我々としてよいと考えているわけなのその辺の考え方がわかりづらいという。
02:04:51	ことかと、再度思いましたので、
02:04:55	少し整理したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:22	谷ですけど、あとやっぱり
02:05:28	傍聴て前面、
02:05:35	評価するときに、取水口評価点を見たら、
02:05:40	いいんですっていう説明がやっぱり、
02:05:44	直してくれたんだけどよく分かんなくて、
02:05:48	6ポツです高速の81ページ
02:06:06	この、私はこの説明は前から言ってるように、大事な説明だと思うんです。
02:06:13	網羅的に確認をしたんだけど、
02:06:18	各評価地点で網羅的に確認したんだけど、
02:06:24	傍聴て、
02:06:25	82ページ以降ですね。
02:06:30	ただけども、これは防潮て前面というのは、取水口の評価地点に代表させるんですよっていう、
02:06:40	補足です。
02:06:48	それで、結局、
02:07:04	何で83ページで、
02:07:08	検討対象波源の上昇メカニズムを分析することで、妥当性が示せる。
02:07:16	何で84ページで、
02:07:20	取水口付近の水位上昇メカニズムを、
02:07:26	防潮て前面の水位の最大地点の水位上昇メカニズムは3号炉取水口及び12号、
02:07:36	取水口と同様であると同様である場合に、
02:07:40	代表。
02:07:42	佐瀬。
02:07:44	てるのか。
02:07:48	水最大地点の上昇メカニズム。
02:07:57	おんなじだったら、
02:08:01	代表できるのかっていうのが何か僕はですねこれを見ててもよくわからなくて、
02:08:08	だからどうなのかっていうのを、
02:08:12	前も聞いたんですね。
02:08:24	当北海道電力の青木ですと膨張て全面上昇側ってところについては、取水口とか放水高と違って、範囲がある程度幅広にあると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:08:35	いうところでまず何取り組んだかというところで、最大ケースの最大水位上昇量分布を確認したところ、取水口付近で最大値になってるっていうところが、一つわかったところになっております。
02:08:49	その取水口付近では大きくなるメカニズムってどういったものかっていうところで、その近くにあります取水口とかの葉系と比較した時に、同じ時刻で発生して、同じような重なり方で、
02:09:02	防潮で前面に対しても大きくなるっていう水位上昇のメカニズムは共通してられているのかなと、そこから考えていきますと取水口に対して大きい波源を見つけていくっていうことイコール膨張で前面に対しても、
02:09:17	大きい A、CSE が大きくなる波源を見つけていくっていうところになるっていう論理展開で、こういった資料化しているところになります。
02:09:25	お考えとしてはこのような考えとなります。以上です。
02:09:31	井谷です。
02:09:33	これはあれなんだよな、取水口付近でチャンピオンになるようなものが取水口、防潮で前面で評価した時に取水口付近でチャンピオンになったような、
02:09:47	場合には、当然取水口、
02:09:49	上がってるようなメカニズムとおなじです。
02:09:54	それは当然だろうなと思うんですけども、
02:09:57	それをもってして、防潮で全面
02:10:03	で、
02:10:04	むしろね他のところが、
02:10:07	チャンピオンになることがないんですけどっていう説明を、
02:10:13	に繋がらないと何か僕を、
02:10:16	いまいちピンとこない。必ず取水口付近がチャンピオンになるんですけどっていう話なんです。
02:10:25	膨張で全面でチャンピオンになるケースっていうのは、必ず取水口付近、
02:10:32	丹那なるんです。だから、メカニズムも一緒に、
02:10:37	いいんですけどっていう話なんですっけ。
02:10:41	北海道電力の青木です。事実としては膨張で前面の最大径性もが全部取水口付近かというところではなくて、今、最大ケースで確認したケースについては取水口付近へと 84 ページに書いている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:56	断層パターンなの、このケースについては取水口付近で最大になっております。
02:11:01	一方、85 ページ、この健全地形モデルの防潮て前面の最大ケースの断層パターン 6、
02:11:09	の波源でいうと、取水口付近ではなくてこの膨張ての、
02:11:14	端の部分の 13.4 と数字書いてあるところで最大地点になっております。
02:11:20	このケースがいいのかどうかというところについては、分布図とかを確認して地震津波の一波川白な、失礼しました。地震津波の 2 羽と川白にやっぱ重なって大きくなっている波源だということ、
02:11:35	この位置ですと、断層パターン 6 は重なってくると、いうところなのでそういった意味で、その断層パターン 6 はもともと、
02:11:44	水位が大きい波源っていうところもありますので、問題はないと、波源選定として妥当というところを考えております。以上です。
02:12:19	僕だけがわかんないんですかね単位ですけど、
02:12:25	皆さんわかられて、
02:12:29	何でこれで、
02:12:31	防潮て前面、
02:12:35	の最大になる。
02:12:38	評価地点を取水口で代表できるんだ。
02:12:53	えっとね。
02:12:58	防潮て前面の水位が、
02:13:02	断層パターンなののボーイを、
02:13:06	色ターン等だけの話をしてもしょうがないのかもしれないけどこれは必ず、
02:13:12	必ずじゃない。
02:13:14	取水口付近になるんだ。
02:13:18	だから、
02:13:24	代表。
02:13:25	できるんだっていう話の、
02:13:28	です。
02:13:30	6 は、
02:13:31	必ずこれは、
02:13:33	この 85 ページのような位置になってて、
02:13:48	重なるから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:13:50	いいです。
02:13:55	ふうん。
02:13:57	よく起こるの井野乃音。
02:14:04	いやこれ、何か僕、大事なところかなって思ってるんだけど。
02:14:10	あんまり大事じゃないんですかね、これ、これ。
02:14:15	大事ですよ。もしこれ組み合わせた時に取水口、防潮て前面が、
02:14:21	他のところがすごく大きくなるかもしれないと3号炉、3号、
02:14:28	取水口で評価してたんでは実は、
02:14:33	わからないようなところが、
02:14:36	大きくなるような波源が存在するとしたら、今の評価では、
02:14:45	だと何か、
02:14:48	適切じゃないかもしれないから、だからここはしっかりと説明しなきゃいけないかなというふうに思ってるし、防潮て前面の水位が、今や結構高くなってる中で、
02:15:01	ここが本当にこうチャンピオンが、
02:15:03	今のやり方で選ばれてるんですかねっていうのは、
02:15:07	大分僕は気にしてるっていうところですので、
02:15:11	何かこのロジック、
02:15:16	僕はちょっと伝わってこなくて、
02:15:20	か。
02:15:21	これヒアリングで確認して、やっぱりわからないっていうことになったら会合でもわかりませんがっていう話になる、なるかなと思いますので、
02:15:33	ちょっとまた、
02:15:34	何かここが僕はわか伝わってないんじゃないのかとかいうのがあったらぜひ説明してもらえたらなと思います。
02:15:52	井戸電力奥寺です。ここで言いたいことは数字もそうなんですけど、
02:16:00	パターン7で、
02:16:03	選ばれている。
02:16:06	ケースというのは、
02:16:08	取水口で、
02:16:11	メカニズムを見ると、評価しても良いのではないかとこのところを、
02:16:16	水位上昇量分布とか、
02:16:20	は形を見たりして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:16:23	主張したいところですパターン7は、
02:16:27	7という波源は取水口あたりで最大になるっていうのを確認しているの で、
02:16:34	あるポイントで代表していいんじゃないかということを言いたい。
02:16:39	そういう資料ですけど。
02:16:46	パターン7はっていうけどこれはあれですよね検討の前段。
02:16:53	検討をしていく中ではどんなパターンでも、この膨張て前面っていうの は、3号炉取水口だとか12号取水口だったかな。
02:17:05	そこで同様ですっていう前提が、
02:17:09	何かあるんですよね。
02:17:20	7でいいだけを使って、
02:17:23	この前提は絶対正しいんだけど、
02:17:26	7Dで、一応検証しましたっていうような説明だったら、
02:17:33	わからんでもないんですけども、
02:17:35	検証は7Dだけでいいんだっけ。
02:17:40	いや、いや、いや
02:17:43	うまく伝わって、
02:17:45	伝えれないな。
02:19:45	これあれか。前提として伝わり方が一緒だから。だから、
02:19:52	伝わり方が一緒であれば3号炉取水口で評価し、するのでいいんだらう ってそういう前提になってたんでしたっけ。
02:20:00	3号炉取水口の。
02:20:02	でチャンピオンを起こす波の伝わり方と、
02:20:07	ちょ、
02:20:08	包丁で全面、
02:20:10	チャンピオンになる、波の伝わり方は一緒だ、同じようなメカニズムで あるから、
02:20:18	その前提が僕はわかってないのかな、何かちょっとねどっちにしても、
02:20:24	わかりやすく説明して欲しいなというところです。
02:25:40	すみません規制庁の名倉です。お聞きしたかったのは、
02:25:45	水位下降側の評価の考え方。
02:25:51	結果30ページのところでこれ出てますけれども、
02:25:54	これは
02:25:57	波源としては、ここに書いてある四つの区分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:26:00	それぞれへの時間的観点の検討をして、
02:26:06	要はここに書いてある数値として時間だけ出て、時間が出ているのは下3列ですけど、上1列についても時間的な評価をやってそれで、
02:26:16	一番厳しいものをとりますというふうなこれ方針でやっている。
02:26:21	という理解でよろしいですか。
02:26:39	北海道電力奥寺です。箱書きに書いている。
02:26:44	ところで、
02:26:46	取水口水位下降量最大ケースですと、
02:26:50	取水性を確保するために補正を考慮した時間の最大ケースを選定する。
02:26:57	で、貯留堰、パルスの蓋項目については、
02:27:02	保守性を考慮した地盤の評価値については、
02:27:08	継続時間パルスの時間の評価中よりも、
02:27:12	大きくなるということも踏まえて、
02:27:16	貯留堰の容量の評価の観点から、
02:27:20	ちょっと保守的という言葉遣いは、先ほどから議論ありますけれども、保守的な評価となるように、
02:27:27	最大軽装を選定するというので、最終的に出てきた結果が赤囲みと。
02:27:34	そういうような関係になる。
02:27:45	すいません、ずっと頭に入ってこなくて、
02:27:49	波源はどっから選定されているんですかっていうのがよくわからなくて、
02:27:55	保守性を考慮した時間721秒って言うところの、南へ20キロパターンの工夫の仕方2020キロ、断層上端深さ5キロ40秒って言うところの、特に40秒以外の条件についてはこれは、
02:28:10	どっから出てきてるのかっていうことでは、地震に伴う、
02:28:16	津波の最大ケースのところから、これでできていて、
02:28:20	それと組み合わせる時間が、
02:28:22	40秒ということで、地震のところから直接引っ張ってこれているっていう。
02:28:29	理解で、少なくとも721名はそうかなって思っていて、
02:28:35	その右側の698秒も、
02:28:39	地震による津波32ページの頭のところに書いてある地震に伴う津波の最大ケースから、
02:28:46	引っ張ってきているわけではないのかこれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:29:01	うんだからそれぞれこれ赤線に囲ったやつがどこ、どこから引っ張ってくれているんですかっていうのをちょっと教えてくださいと言ってるに等しいんですけど。
02:29:09	北海道電力の青木です。地形モデルごとにちょっと検討のやり方は一緒なんですけれど、結論、どういう経緯でこのケースになったかっていうところがちょっと変わって、
02:29:20	違う結果になっておまして、一番右の地形モデル③については、地震津波の最大ケースを対象に組み合わせ評価をやった結果、この京成が選ばれております。
02:29:32	一方左濃密については、今回、上昇側の検討に対して東西ずらして、追加解析やった結果がありますので、
02:29:42	そのアウトプットっていうところで保守性考慮した時間の値が大きいケースが出てきたというところで、そういった形から選んできたものが左の三つというふうに考え、
02:29:52	三つになります。
02:29:54	もうちょっと、
02:29:55	やり方は、それぞれ共通してやっているんですが、その最大ケースの選ばれ方っていうところは結果としてちょっと変わってきているというところになります。以上です。
02:30:07	江沢名倉です。
02:30:10	ということは、こんなたくさん並べてるんだけど、
02:30:13	全然関連しないってことですね。
02:30:17	下の赤で決まっているもの左三つについては、ここに書いてある数値とは関係なく、独自にやったものとして、このな 721 号 698 万 743 秒という数値が出てきていて、
02:30:31	右側の 863 秒だけは、
02:30:36	地震による下降量推移の最大のケースのところから引っ張ってこれている。
02:30:42	ケース。
02:30:43	32 ページのケースとも違うということですね。
02:30:48	705 秒とかって言うこのケースではない、ないというわけですね、時間ではなくて。
02:30:54	水位下降量の最大のケース、
02:30:57	地震単独でそこから持ってきているっていう理解。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:31:01	でよろしいですね。
02:31:05	回動電力の青木ですと 32 ページのところの考え方を、同じような理解だともう少し補足させていただきますと、一番右側は、
02:31:17	= 同じ波源がといいますと、若干違ってまして、
02:31:22	当保守で考慮した時間の 705 秒のケースを組み合わせると 863 名の方はそういうわけではないちょっと評価。
02:31:30	項目はすいませんちょっと口挟みますけど、これは違います。
02:31:34	これはだって時間時間評価の保守性を考慮した時間の観点で抜き出した波源ですよ、地震単独で。
02:31:42	ではなくて、
02:31:43	この 863 秒は 32 ページの下に持ってきてるやつは、
02:31:47	これどこにも書いてないからよくわかんないんだけど、聞いている限りは、
02:31:52	次保守性を考慮した時間ではなくて地震に伴う津波の最大ケースとして、
02:31:59	下降側水位変動量が、地形モデル③で最も
02:32:06	何ていうかな、変動量が大きい。
02:32:10	波源モデルってことですね。
02:32:13	それを引っ張って持ってきていてそれ、それで、
02:32:17	時間評価をやると 863 秒が出てくるというふうに、説明聞いたんですけど今までそういう理解ですね。
02:32:28	会田電力の青木ですその通りの認識です。
02:32:33	わかりましたってということは、一体どういうやり方をしてるかっていうことでは左サンリツのやり方が主なやり方なんだけれども、
02:32:42	それに加えて、
02:32:48	成果考慮地震に言う伴う水位下降量が最大の
02:32:52	ケースも波源選定の際に拾って時間評価の組み合わせをやって、
02:33:00	持ってきてるってことですね。
02:33:03	何かそこら辺のやり方がですね。
02:33:05	どこにも方針が書いてないので、ちょっとわからないんですが、そこら辺をちょっと今後一体今、事実としてどういうことをやって決めているのかっていう方針を、
02:33:17	1 回ちょっと出してもらえますかね。
02:33:21	今、あまり何か書いてないですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:24	そこら辺のやり方。
02:33:33	ください。社内検討します。
02:34:50	すいません、規制上鈴木ですけど、58 ページが地震に伴う津波のこれ。
02:34:57	まだ直ってないけど保守性を考慮した時間を定義した結果、
02:35:01	変わりパルスを考慮しない時間の結果も変わりましたっていう、日本語のまま変わってないんですけど、
02:35:07	58 ページが地震の単独で、
02:35:11	ここでいろいろありますよねケース 4 だ野地球団のケース AB。
02:35:17	C、D までであるのかな。
02:35:19	ここで全部出てきたそのアスペリティの市田断層パターンだ矩形モデルの黒字モデルだっていう、このパターンを、
02:35:28	これも、
02:35:30	組み合わせのときには、
02:35:32	すべて、
02:35:34	上昇側でもともと上昇が選ばれているのか、下降側で選ばれたものであろうが地震単独ですよ。
02:35:41	それを組み合わせのときにはすべからく、
02:35:44	やって、
02:35:47	その結果、何で微妙な入れ替わりがあって最後、例えば、加古が出れば 30 ページの、
02:35:54	この
02:35:55	県連地形、
02:35:57	地形モデル 123 っていうので、選ばれましたと。
02:36:01	その時に、
02:36:03	例えばこの 58 ページのパルスを考慮しない時間、
02:36:07	この行をとっばらってしまうと、
02:36:09	何か結果に、最後の結論に希望してるんですか。
02:36:13	距離を下回る継続時間。
02:36:15	これを拾っておいてあげないと、地震単独のときにですね、これが組み合わせた結果の結論に影響しないんですか。
02:36:21	3 号炉取水口下降側、これを残してあげないと。
02:36:25	加来美麻結果のところで拾い切れない提供が出るんですかと言って、最後の、
02:36:31	そういう取水口下降側これ地震単独のものをこれ残しておかないと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:36:37	組み合わせの結果の時に、
02:36:40	下は変わるっていう説明なんですけども、
02:36:44	ということですよね。
02:36:56	ですよねこれケース 18 アスペリティー断層パターン 79m モデル東出 15 キロ、断層上端深さ 3 キロケース。
02:37:06	18 か、これを、
02:37:08	残して、
02:37:10	こういったがためにですよ。
02:37:13	組み合わせだけ。
02:37:16	うん。
02:37:17	ちょっと待ってね。
02:37:19	そうだよ。組み合わせた結果、863 秒という結果が、
02:37:23	拾えている。
02:37:25	ていう。
02:37:40	実際この赤い
02:37:46	データが、
02:37:51	いろんな励んでやってる。
02:37:56	どういう考え方で、
02:38:03	だろうなっていうのが、
02:38:09	当北海道電力の青木でちょっとさっきの回答で 19 するかもしれないん ですが、58 ページのケースを対象に、こちら書いてるケース、ケース 1 から 20 とケース A から D の全部で 24 ケースでございます。
02:38:25	こちらを対象に組み合わせ評価やった結果選ばれたケースっていうの が、ケース 18、3 号炉取水口は古川の一番③地形の一番右側の列の 11.2 のやつこのケース 18 を組み合わせると。
02:38:39	ちょっとページ違うんですけども 196 ページ側、
02:38:43	の方で、
02:38:45	18 ページっていうのは本体資料の 58 ページ。
02:38:49	本体資料の 58 ページ 5.1 って書いた、ここに書いてあるやつは全部、
02:38:57	時間評価でも全部ここに書いてあるやつは考慮してやってるっていうこ となんですか。そう。そういった理解で大丈夫です。
02:39:04	南北なんで、
02:39:06	これを止めますっていうところの行が、
02:39:08	ケース 3 ケース、ケースケースっていうか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:39:11	存在しなくて、
02:39:12	組み合わせとか、
02:39:15	そうすると、
02:39:19	具体的に行くと、ケース 1 からケース 18。
02:39:29	というものも考慮して、
02:39:40	パラメータスタジオやったっていう、そういうこと。
02:39:45	場所っていうか時間評価をやったと。
02:39:48	58 ページに書いてあるケースを組み合わせ時間差でいろいろ時間差ずらして検討した結果、すべてやった結果で、ちょっと 196 ページ本体資料の、
02:40:02	こちらの方がちょっと状況わかりやすいんですが、
02:40:12	この一番右下のケースの 863 秒、これもとは、ケース 18 と呼んでいたものになります。
02:40:26	ページ。
02:40:27	お願いします。
02:40:32	機能がこっちの方。
02:40:35	196 ページの③地形はそういった形で選ばれております。
02:40:40	一方一番左の健全地形モデル、ここ、黒字になっておりますこの黒字の意図するところ、
02:40:48	断層パターン 6 の D 南 20 っていうケースの多くの時に 20 キロ、
02:40:53	こちらが、その 197 ページの前回会合における最大ケースの、
02:40:59	一番上の、違うな。
02:41:03	失礼しました。こちらについては県、前回の審査で用いたケースの最大ケースになっておりますちょっと。
02:41:10	説明しきれないところがありますちょっと飛ばさせていただいて、左から二つ目は、
02:41:15	5.7 章の、
02:41:18	上昇側に対する追加解析の一派と一般の組み合わせ評価をやったときに出てきたケースが青字のもの。
02:41:25	②のもの 743 秒と書いているものが、5.6 所の 1%と日本の上昇側の評価をやってきたときに出てきたケースというところになっております。
02:41:37	森島一番あと左下のケースと補足検討のところ、2 羽と 2 羽の組み合わせをやったときのケースというところになります。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:41:48	既設の名倉です。すみません全然わかんなくて、やっぱり左下のやつはどっからも出てこない。
02:41:54	58 ページの、
02:42:00	58 ページのところから出てきませんよね。
02:42:05	やっぱりだから説明が、すみません 58 ページ以外のところから出てくるんですね、左下は。
02:42:14	196 ページの一番左下の 721 秒っていうのはどっから出てくるんですか。
02:42:22	58 ページのケースの中には入ってないですよ。
02:42:30	196 ページの一番左下の 721 秒っていう、
02:42:34	この波源は、
02:42:36	くの字型に支援 20 キロっていうやつ。
02:42:41	波源 1、
02:42:44	これってどこから出てくるんですか。
02:42:52	だから、
02:42:53	96 ページ。
02:42:56	74、83。
02:42:59	これは、
02:43:00	18 ページ。
02:43:03	これ、
02:43:16	いや、ないですよ。認識して何木戸っていうのが、
02:43:23	波源 1 倉内形西縁 20 キロとか 2025 キロ、
02:43:29	はあるけど、
02:43:33	んじゃなかにはないんですね。
02:43:39	うんだから、そう。
02:43:42	それをだからどこかでは何か何か思うデータをもとに、
02:43:49	パラメータスタディか何かの結果をもとに、
02:43:52	追加してるんですね。
02:43:55	当北海道電力の青木でちょっと資料から読み取れないところ申し訳ございません一番左下のケースについては、
02:44:03	川白 2 羽の影響というところで検討したケースを対象にしておりますでちょっとそこ読み取れないところなので、ちょっとわかるようにしたいと思っております。以上です。
02:44:20	当北海道電力な OK ちょっと具体的なケースで言いますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:44:35	面白い。
02:44:39	補足説明資料の 68 ページですかね。
02:51:39	規制庁谷です。
02:51:42	ちょっとすみません皆さん考え込んでしまってた
02:51:47	ちょっともう時間もですね大分押してきてるっていうのがあって、
02:51:56	今回ちょっと
02:51:59	全部が全部確認できてないのかもしれないですけど 1 回これ、
02:52:04	これでヒアリング終わりたいと思いますけど何か最後、
02:52:08	北海道電力から何かあれば、あればここだけは言っておきたいとかありましたら、
02:52:13	お願いします。
02:52:26	こちらからは特にございません。
02:52:30	はい規制庁谷です。それではヒアリングを終わります。どうもお疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。